

人口減少・高齢化時代における地域 コミュニティの現況調査アンケート の集計結果について（上北地域版）

令和3年11月
上北地域県民局地域連携部

< 目 次 >

1. 調査の概要について	P 2
2. 調査結果について	
(1) 回答者の属性に関すること	P 4
(2) 町内会の基礎情報に関すること(問1～問9)	P 8
(3) 町内会の運営に関すること(問10～)	P 22
(4) 町内会での取組等に関すること(問21)	P 37
(5) 地域での問題の発生状況に関すること(問22～問23)	P 39
(6) コロナ禍で起こっている問題に関すること(問24)	P 46
(7) 町内会への若い世代(20～50代)の参加に関すること(問25～問26)	P 48
(8) 行政との協働に関すること(問27～問29)	P 57
(9) 地域の展望に関すること(問30～問34)	P 63
(10) その他(問35)	P 69

1. 調査の概要について

- (1) 名称 人口減少・高齢化時代における地域コミュニティの現況調査アンケート
- (2) 実施主体 青森県企画政策部地域活力振興課（運営受託者：ハートエンジニアオフィス株式会社）、上北地域県民局地域連携部
- (3) 調査の目的 上北地域の町内会・自治会・行政区等（以下、「町内会」という。）の活動状況や運営課題等の把握。
- (4) 調査対象 上北管内9市町村の町内会長
- (5) 調査内容 ①町内会の基礎情報、②町内会の運営に関すること、③町内会での取組に関すること、④地域での問題の発生に関すること、⑤コロナ下で起こっている問題に関すること、⑥町内会への若い世代（20～50代）の関わりに関すること、⑦行政との協働に関すること、⑧地域の展望に関すること、⑨その他 等
- (6) 調査の実施期間 令和3年6月16日～7月15日
- (7) 調査方法 ①依頼方法 … 直接郵送又は管内市町村を經由した調査票の配布
②回収方法 … 返信用封筒による返送
- (8) 集計結果の活用方法 上北管内9市町村と町内会の現況を共有し、今後の住民の地域活動支援を考える際の参考資料等として活用します。
- (9) 結果の公表 ①全県版 … 県HPに掲載 (<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/chikatsu/community.html>)
②上北地域版 … 県HPに掲載 (https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ka-renkei/R3_kamikita_community_research.html)

1. 調査の概要について

(10) 回答状況

・481組織／816組織（回答率58.9%）

項目 \ 市町村名	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	無記名	合計
A. 組織(調査対象)数	292	109	23	125	50	29	105	27	56		816
B. 回答数	158	59	13	60	41	22	58	20	43	7	481
C. 回答率(B/A)	54.1%	54.1%	56.5%	48.0%	82.0%	75.9%	55.2%	74.1%	76.8%		58.9%

(11) その他

・本調査は、県地域活力振興課がハートエンジニアオフィス株式会社に委託し、調査結果を集計をしています。本資料はそのデータを元に無効回答を除き集計しています。



2. 調査結果について

(1) 回答者の属性に関すること

<ここでは、次のようなことがわかります>

- ・ 回答者、町内会長の年代、性別、地域への居住年数、職業等の傾向

2. 調査結果について

(1) 回答者の属性に関すること

＜確認項目＞ 回答者の①年代、②性別、③町内会での役割、④居住年数

＜回答結果＞

①年代

項目	回答数	構成比
30代以下	4	0.8%
40代	14	2.9%
50代	35	7.3%
60代	200	41.6%
70代	187	38.9%
80代以上	30	6.2%
無回答	11	2.3%
計	481	100.0%

②性別

項目	回答数	構成比
男性	440	91.5%
女性	28	5.8%
無回答	13	2.7%
計	481	100.0%

③町内会での役割

項目	回答数	構成比
会長	442	91.9%
会長以外	25	5.2%
無回答	14	2.9%
計	481	100.0%

(会長以外は、事務局長、班長 等)

④居住年数

項目	回答数	構成比
5年未満	21	4.4%
5年以上10年未満	25	5.2%
10年以上	425	88.4%
無回答	10	2.1%
計	481	100.0%

本調査の回答者は、

⇒ 「60代以上」が、約9割

⇒ 「男性」が、約9割

⇒ 「会長」が、約9割

⇒ 「地域に10年以上暮らしている住民」が、約9割

2. 調査結果について

(1) 回答者の属性に関すること

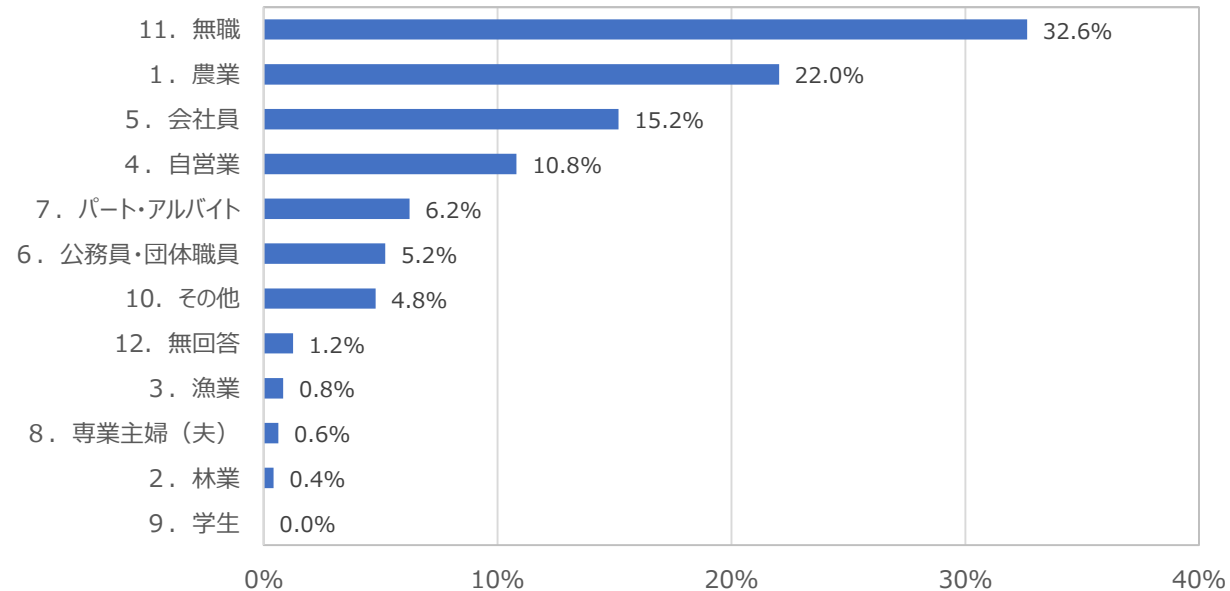
<確認項目> 回答者の ⑤職業

<回答結果>

⑤職業

	回答数	構成比
1. 農業	106	22.0%
2. 林業	2	0.4%
3. 漁業	4	0.8%
4. 自営業	52	10.8%
5. 会社員	73	15.2%
6. 公務員・団体職員	25	5.2%
7. パート・アルバイト	30	6.2%
8. 専業主婦（夫）	3	0.6%
9. 学生	0	0.0%
10. その他	23	4.8%
11. 無職	157	32.6%
12. 無回答	6	1.2%
計	481	100.0%

<職業について>



2. 調査結果について

(1) 回答者の属性に関すること

<確認項目> 代表者（会長） の①年代、②性別、③居住年数、④職業

<参考> (回答した481名のうち442名が会長)

①年代

項目	回答数	構成比
30代以下	3	0.7%
40代	10	2.3%
50代	27	6.1%
60代	191	43.2%
70代	179	40.5%
80代以上	27	6.1%
無回答	5	1.1%
計	442	100.0%

⇒「60代以上」が、約9割

③居住年数

項目	回答数	構成比
5年未満	18	4.1%
5年以上10年未満	22	5.0%
10年以上	397	89.8%
無回答	5	1.1%
計	442	100.0%

⇒「地域に10年以上暮らしている住民」が、約9割

②性別

項目	回答数	構成比
男性	414	93.7%
女性	21	4.8%
無回答	7	1.5%
計	442	100.0%

⇒「男性」が、約9割

④職業

	回答数	構成比
1. 農業	103	23.3%
2. 林業	2	0.5%
3. 漁業	4	0.9%
4. 自営業	50	11.3%
5. 会社員	62	14.0%
6. 公務員・団体職員	20	4.5%
7. パート・アルバイト	27	6.1%
8. 専業主婦（夫）	2	0.5%
9. 学生	0	0.0%
10. その他	21	4.8%
11. 無職	148	33.5%
12. 無回答	3	0.6%
計	442	100.0%

(参考)

①「60歳以上」で③「地域に10年以上」暮らしている②「男性」が代表（会長）となっている組織が、全体の約8割（342名/442名中）。

2. 調査結果について

(2) 町内会の基礎情報に関すること

〈ここでは、次のようなことがわかります〉

- ・ 町内会の規模（世帯数等）、所在エリア、役員の年代・性別、組織の結成時期、組織内の部会や委員会の数、会長の任期、運営予算の傾向 等

2. 調査結果について

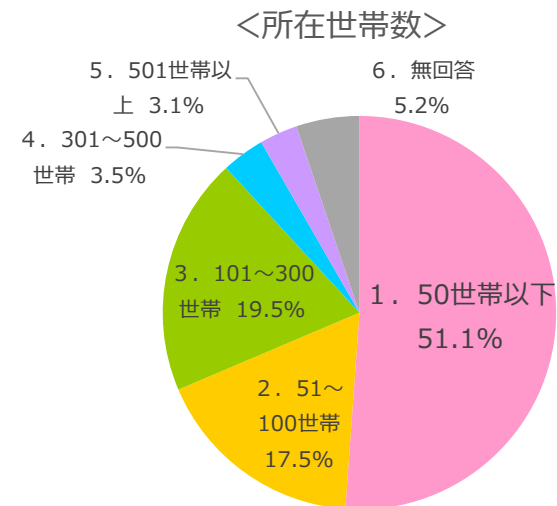
(2) 町内会の基礎情報に関すること

<問 1> 町内会の区域に「①所在する世帯数」と、「②組織加入世帯数」を教えてください。

<回答結果>

①所在する世帯数

項目	回答数	構成比	内訳（所在エリア別の回答数）					
			住宅 密集地	商業 地帯	農業 地帯	漁業 地帯	その他	無回答
1. 50世帯以下	246	51.1%	47	13	170	3	9	4
2. 51～100世帯	84	17.5%	38	4	32	3	6	1
3. 101～300世帯	94	19.5%	60	3	24	1	6	0
4. 301～500世帯	17	3.5%	14	0	0	0	3	0
5. 501世帯以上	15	3.1%	12	0	1	1	0	1
6. 無回答	25	5.2%	11	2	9	2	1	0
計	481	100.0%	182	22	236	10	25	6



2. 調査結果について

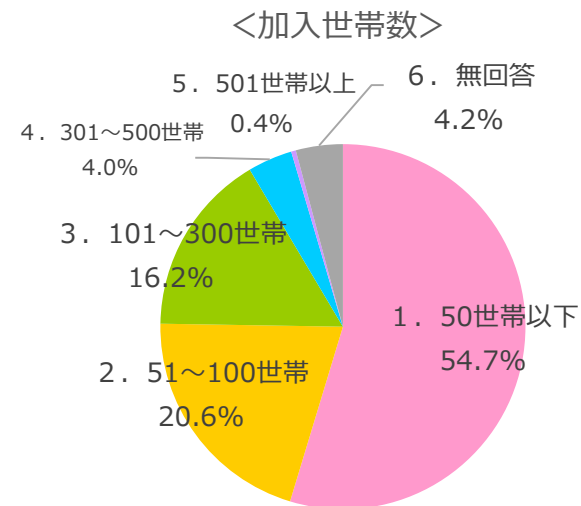
(2) 町内会の基礎情報に関すること

<問 1> 町内会の区域に「①所在する世帯数」と、「②組織加入世帯数」を教えてください。

<回答結果>

②組織加入世帯数

項目	回答数	構成比	内訳（所在エリア別の回答数）					
			住宅 密集地	商業 地帯	農業 地帯	漁業 地帯	その他	無回答
1. 50世帯以下	263	54.7%	60	16	170	3	11	3
2. 51～100世帯	99	20.6%	49	4	36	4	5	1
3. 101～300世帯	78	16.2%	48	2	18	1	9	0
4. 301～500世帯	19	4.0%	16	0	2	0	0	1
5. 501世帯以上	2	0.4%	1	0	0	1	0	0
6. 無回答	20	4.2%	8	0	10	1	0	1
計	481	100.0%	182	22	236	10	25	6



⇒ 「①所在する世帯数」、「②組織加入世帯数」とともに、
全体の約5割の組織が「50世帯以下」で構成されている。
また「50世帯以下」の町内会の約7割が「農業地帯」にある。

2. 調査結果について

(2) 町内会の基礎情報に関すること

<問 1> 町内会の区域に「①所在する世帯数」と、「②組織加入世帯数」を教えてください。

(参考)

<組織加入率> (②「組織加入世帯数」/①「所在する世帯数」で算出)

項目	回答数	構成比	内訳（所在エリア別の回答数）					
			住宅 密集地	商業 地帯	農業 地帯	漁業 地帯	その他	無回答
1. 50%未満	25	5.2%	14	1	4	1	4	1
2. 50%以上60%未満	15	3.1%	14	1	0	0	0	0
3. 60%以上70%未満	35	7.3%	22	3	8	1	1	0
4. 70%以上80%未満	33	6.9%	19	0	11	0	3	0
5. 80%以上90%未満	68	14.1%	31	1	31	0	4	1
6. 90%以上100%未満	106	22.0%	34	9	56	2	4	1
7. 100%	154	32.0%	29	4	108	4	7	2
8. 無回答	45	9.4%	19	3	18	2	2	1
計	481	100.0%	182	22	236	10	25	6

⇒ 全体の約3割は、「100%」
全体の約7割は、「80%以上」

2. 調査結果について

(2) 町内会の基礎情報に関すること

＜問 2＞ 「性別」、「年齢別」に町内会の役員数を教えてください。
(人数を記入。不明な場合は「その他」)

＜回答結果＞

年代	合計 (①+②)		①男性役員		②女性役員	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1. 30代	63	1.9%	44	1.7%	19	2.9%
2. 40代	275	8.4%	230	8.8%	45	6.9%
3. 50代	554	16.9%	446	17.0%	108	16.6%
4. 60代	1,103	33.7%	903	34.5%	200	30.8%
5. 70代	960	29.4%	751	28.7%	209	32.2%
6. 80代	155	4.7%	121	4.6%	34	5.2%
7. その他	160	4.9%	126	4.8%	34	5.2%
計	3,270	100.0%	2,621	100.0%	649	100.0%
男女別の割合	100%		80.2%		19.8%	

⇒ 年代は、「60代」、「70代」、「50代」の順に多い。
「30代や40代」は全体の約1割。
性別は、「男性」が約8割、「女性」が約2割。

2. 調査結果について

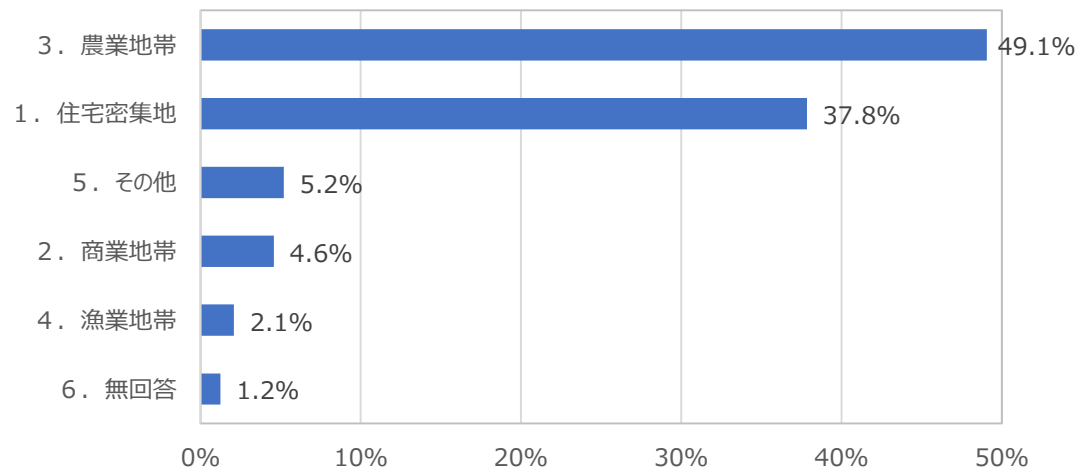
(2) 町内会の基礎情報に関すること

〈問3〉 町内会の所在エリアについて、最も当てはまるもの1つに○をしてください。

〈回答結果〉

所在エリア	回答数	構成比
1. 住宅密集地	182	37.8%
2. 商業地帯	22	4.6%
3. 農業地帯	236	49.1%
4. 漁業地帯	10	2.1%
5. その他	25	5.2%
6. 無回答	6	1.2%
計	481	100.0%

〈町内会の所在エリアについて〉



⇒ 約5割は「農業地帯」、約4割は「住宅密集地」。

2. 調査結果について

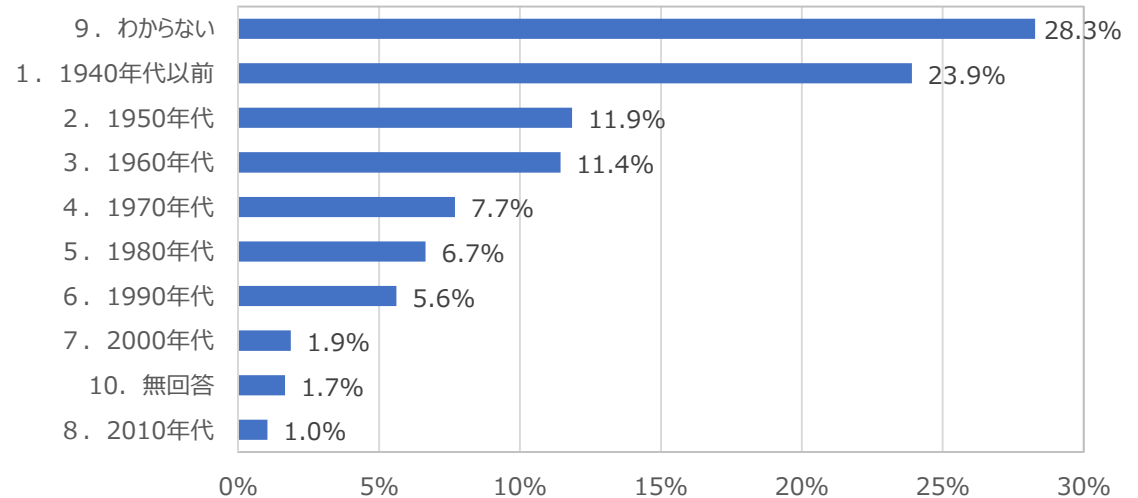
(2) 町内会の基礎情報に関すること

<問4> 結成時期について、当てはまるもの1つに○をしてください。

<回答結果>

	回答数	構成比
1. 1940年代以前	115	23.9%
2. 1950年代	57	11.9%
3. 1960年代	55	11.4%
4. 1970年代	37	7.7%
5. 1980年代	32	6.7%
6. 1990年代	27	5.6%
7. 2000年代	9	1.9%
8. 2010年代	5	1.0%
9. わからない	136	28.3%
10. 無回答	8	1.7%
計	481	100.0%

<結成時期について>



- ⇒ 「わからない」が約3割で最も多かった。続いて「1940年代以前」（約2割）、「1950年代」（約1割）、「1960年代」（約1割）の順に回答が多かった。
- ⇒ 約5割の組織が、50年以上前（1971年以前）に設立されている。
- ⇒ 2010年以降に、新たに結成された町内会もある。

2. 調査結果について

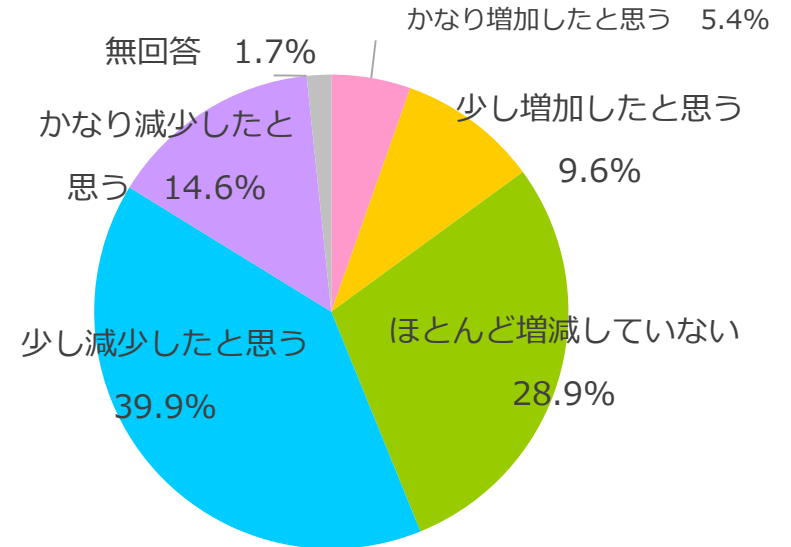
(2) 町内会の基礎情報に関すること

〈問5〉 10年前(2011年)と比べた町内会への住民の加入状況について、当てはまるもの1つに○をしてください。

〈回答結果〉

所在エリア	回答数	構成比
1. かなり増加したと思う	26	5.4%
2. 少し増加したと思う	46	9.6%
3. ほとんど増減していない	139	28.9%
4. 少し減少したと思う	192	39.9%
5. かなり減少したと思う	70	14.6%
6. 無回答	8	1.7%
計	481	100.0%

〈10年前（2011年）と比べた町内会への加入状況について〉



⇒ 「減少傾向」(少し減少、かなり減少) → 約5割
「ほとんど増減していない」 → 約3割
「増加傾向」(少し増加、かなり増加) → 約2割

2. 調査結果について

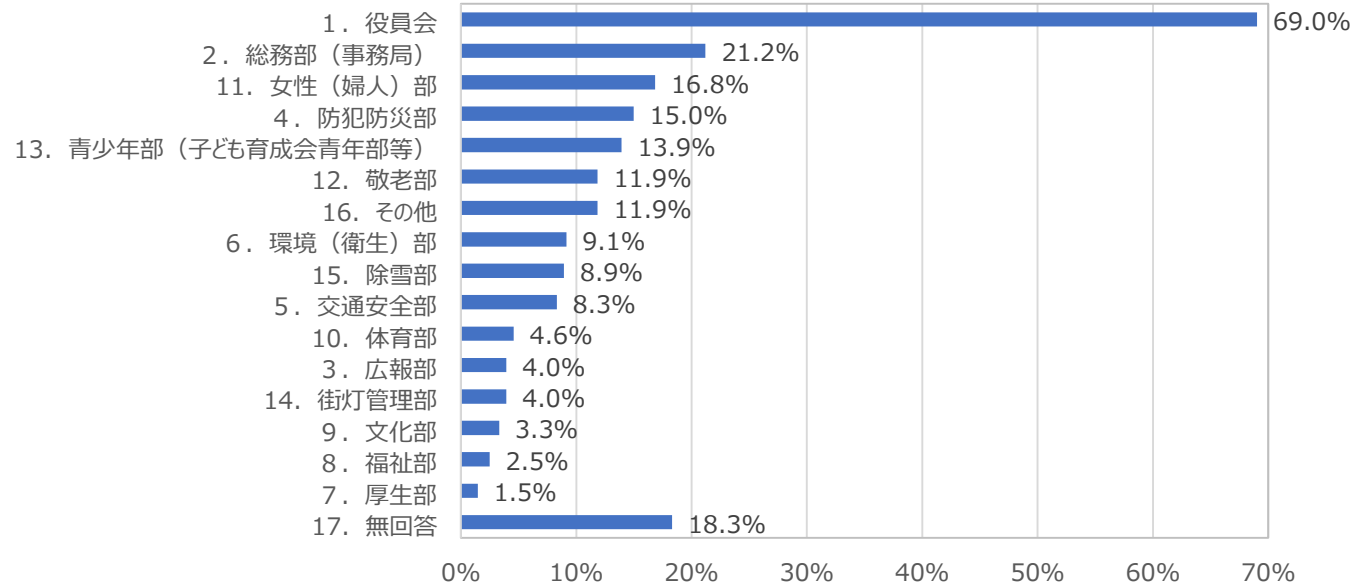
(2) 町内会の基礎情報に関すること

〈問6〉 町内会に部会や委員会がありますか。当てはまるもの全てに○をしてください。

〈回答結果〉

部会・委員会	回答数	%
1. 役員会	332	69.0%
2. 総務部（事務局）	102	21.2%
3. 広報部	19	4.0%
4. 防犯防災部	72	15.0%
5. 交通安全部	40	8.3%
6. 環境（衛生）部	44	9.1%
7. 厚生部	7	1.5%
8. 福祉部	12	2.5%
9. 文化部	16	3.3%
10. 体育部	22	4.6%
11. 女性（婦人）部	81	16.8%
12. 敬老部	57	11.9%
13. 青少年部 （子ども育成会青年部等）	67	13.9%
14. 街灯管理部	19	4.0%
15. 除雪部	43	8.9%
16. その他	57	11.9%
17. 無回答	88	18.3%
計	1,078	

〈町内会の部会や委員会の設置状況について〉



※%は、アンケート回答数（481）で積算

⇒ 「役員会」（約7割）、「総務部(事務局）」（約2割）、「女性部(婦人会)」（約2割）、「防犯防災部」（約2割）の順に多い。「それ以外の部会（青少年部等）」の設置状況は、全体の1割未満

2. 調査結果について

(2) 町内会の基礎情報に関すること

<問6> 町内会に部会や委員会がありますか。当てはまるもの全てに○をしてください。

(参考) 部会・委員会の数

部会・委員会の数	組織数	%
1. 部会・委員会数が1つ	166	34.5%
2. 部会・委員会数が2つ	89	18.5%
3. 部会・委員会数が3つ	50	10.4%
4. 部会・委員会数が4つ	27	5.6%
5. 部会・委員会数が5つ	18	3.7%
6. 部会・委員会数が6つ	16	3.3%
7. 部会・委員会数が7つ	16	3.3%
8. 部会・委員会数が8つ	9	1.9%
9. 部会・委員会数が9つ	2	0.4%
10. 無回答	88	18.3%
計	481	

⇒ 全体の約6割の町内会で、「1つから3つ」の部会・委員会を設置して活動している。

2. 調査結果について

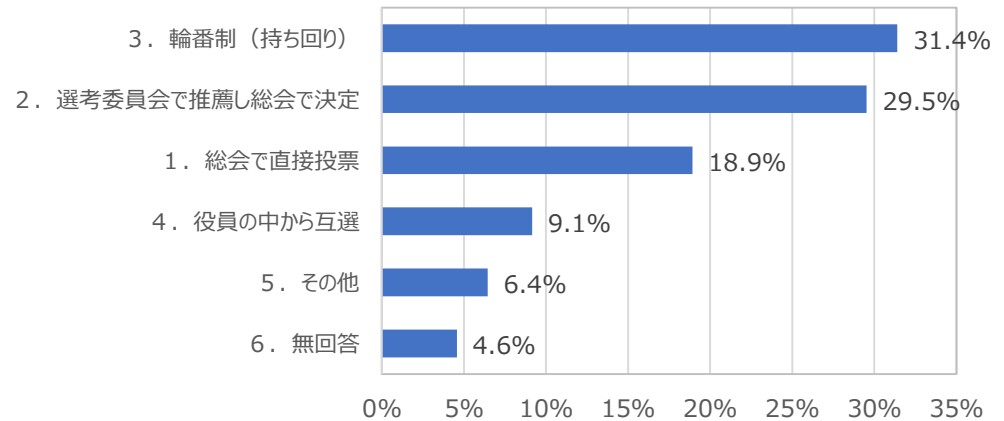
(2) 町内会の基礎情報に関すること

<問7> 役員の選出方法について、当てはまるもの1つに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 総会で直接投票	91	18.9%
2. 選考委員会で推薦し総会で決定	142	29.5%
3. 輪番制（持ち回り）	151	31.4%
4. 役員の中から互選	44	9.1%
5. その他	31	6.4%
6. 無回答	22	4.6%
計	481	100.0%

<役員の選出方法について>



⇒ 「輪番制」（約3割）、「選考委員会で推薦し総会で決定」（約3割）、「総会で直接投票」（約2割）の順に多い。

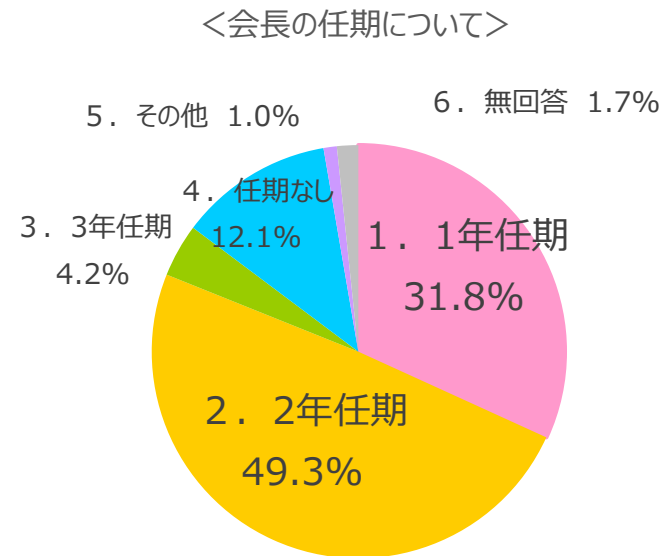
2. 調査結果について

(2) 町内会の基礎情報に関すること

<問8> 会長の任期について、当てはまるもの1つに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 1年任期	153	31.8%
2. 2年任期	237	49.3%
3. 3年任期	20	4.2%
4. 任期なし	58	12.1%
5. その他	5	1.0%
6. 無回答	8	1.7%
計	481	100.0%



⇒ 「2年任期」が全体の約5割。
続いて、「1年任期」（約3割）、「任期なし」（約1割）の順に多い。

2. 調査結果について

(2) 町内会の基礎情報に関すること

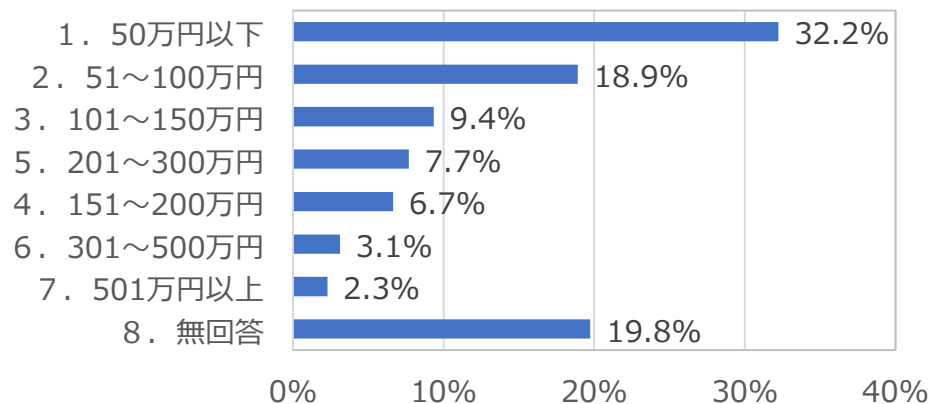
<問9> 令和2年度決算額（①収入、②支出）について

<回答結果>

①収入

項目	回答数	構成比
1. 50万円以下	155	32.2%
2. 51～100万円	91	18.9%
3. 101～150万円	45	9.4%
4. 151～200万円	32	6.7%
5. 201～300万円	37	7.7%
6. 301～500万円	15	3.1%
7. 501万円以上	11	2.3%
8. 無回答	95	19.8%
計	481	100.0%

<①収入の状況について>



2. 調査結果について

(2) 町内会の基礎情報に関すること

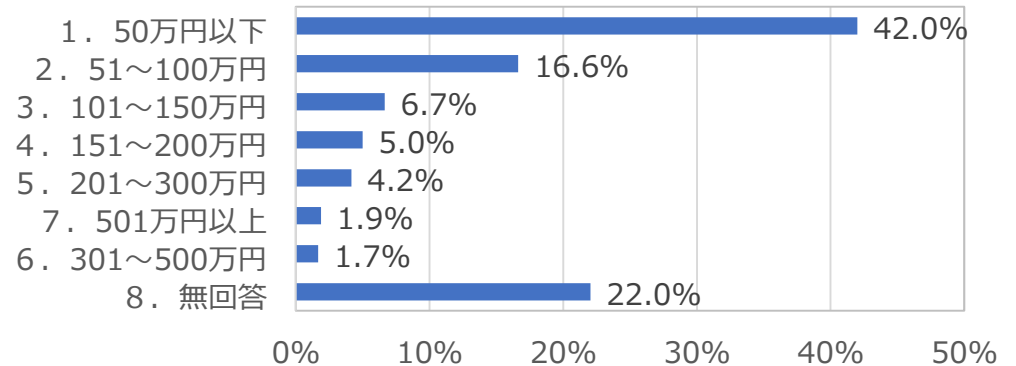
<問9> 令和2年度決算額（①収入、②支出）について

<回答結果>

②支出

項目	回答数	構成比
1. 50万円以下	202	42.0%
2. 51～100万円	80	16.6%
3. 101～150万円	32	6.7%
4. 151～200万円	24	5.0%
5. 201～300万円	20	4.2%
6. 301～500万円	8	1.7%
7. 501万円以上	9	1.9%
8. 無回答	106	22.0%
計	481	100.0%

<②支出の状況について>



⇒ 「50万円以下」の活動費（支出）で運営 ⇒ 全体の約4割
 「51万円～100万円」の活動費（支出）で運営 ⇒ 全体の約2割

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

〈ここでは、次のようなことがわかります〉

- ・ 組織への加入方法、会費の回収方法、情報発信・伝達の方法や課題認識 等

2. 調査結果について

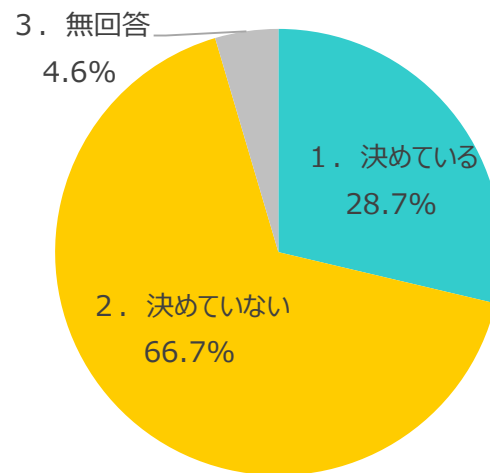
(3) 町内会の運営に関すること

<問10> 新規加入希望者の入会手続きの方法について、当てはまるもの1つに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 決めている	138	28.7%
2. 決めていない	321	66.7%
3. 無回答	22	4.6%
計	481	100.0%

<新規加入希望者の入会手続きの方法について>



「決めている」組織 ⇒ 全体の約3割
 「決めていない」組織 ⇒ 全体の約7割

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

＜問11＞ 新規加入希望者が加入方法を知る方法について、当てはまるもの1つに○をしてください。

＜回答結果＞

項目	回答数	構成比
1. 紙媒体の加入手続き資料を作成し、集会所に設置している	13	2.7%
2. 紙媒体の加入手続き資料を作成し、地域にある掲示板等に掲示している	1	0.2%
3. 紙媒体の加入手続き資料は作成しているが、どこにも設置していない	40	8.3%
4. インターネット上で公開している	1	0.2%
5. 市町村に周知をお願いしている	43	8.9%
6. 特に何もしていない	266	55.3%
7. その他	90	18.7%
8. 無回答	27	5.6%
	481	100.0%

＜その他（※一部自由記述内容）＞

- ・「町内会長出向いて加入をお願いしている」
- ・「新築した住居に出向き会員希望をうながす」
- ・「班長が確認をして連絡する」
- ・「紙媒体を毎戸に配布」等

「特に何もしていない」 ⇒ 全体の約 5 割

「その他」 ⇒ 全体の約 2 割

「市町村に周知をお願いしている」 ⇒ 全体の約 1 割

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

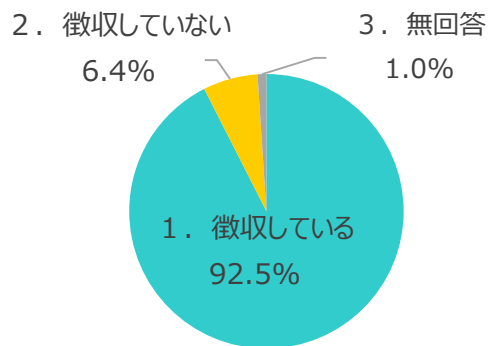
<問12> 町内会費を徴収していますか。当てはまるもの1つに○をしてください。

※徴収している場合、①集金方法と②徴収の頻度について、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 徴収している	445	92.5%
2. 徴収していない	31	6.4%
3. 無回答	5	1.0%
計	481	100.0%

<町内会費を徴収していますか>



⇒ 町内会費を徴収して運営している組織は全体の約9割。

※「1. 徴収している」と回答した組織の①方法と②頻度>

①集金方法 (当てはまるもの全て)

項目	回答数	%
1. 班長が会員宅に個別訪問し、現金で回収している	324	72.8%
2. 会員に町内会長や班長宅に現金を持参してもらっている	57	12.8%
3. 会員に町内会名義の口座に振り込んでもらう	8	1.8%
4. その他	66	14.8%
計	455	

※%は、問12で「1.徴収している」と回答した数「445」で計算

<その他(※一部自由記述内容)>

・「総会時に集めている」、「役員会で集める」、「口座引落」等

⇒ 「班長が会員宅に個別訪問し、現金で回収している」組織は、全体の約7割

②集金頻度 (当てはまるもの全て)

項目	回答数	%
1. 月払い	43	9.7%
2. 年払い	336	75.5%
3. その他	82	18.4%
計	461	

※%は、問12で「1.徴収している」と回答した数「445」で計算

<その他(※一部自由記述内容)>

・「年2回」、「前期・後期の2回」、「3ヶ月払い」、「年4回」

⇒ 「年払い(1回)」の方法をとっている組織が全体の約8割

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

＜問13＞ 町内会費を徴収する上で、困っていることについて、あてはまるもの全てに○をしてください。

＜回答結果＞

項目	回答数	%
1. 現金での回収に時間がかかっている	89	20.0%
2. 現金での回収が非効率的である	27	6.1%
3. 回収した現金の管理が負担である	27	6.1%
4. 今よりも効率的な回収方法に見直したいが、具体的方法がわからない	43	9.7%
5. その他	23	5.2%
6. 特に困っていることはない	298	67.0%
7. 無回答	8	1.8%
計	515	

※%は、問12で「1.徴収している」と回答数「445」で計算

＜その他（※一部自由記述内容）＞

- ・「アパートの住人の分」（十和田市）
- ・「高齢化と年金収入の中、会費負担が大きくなっている」（十和田市）
- ・「班長(10班)回収、班長辞退者が多くなっている」（野辺地町）
- ・「留守が多い為、数回訪問しなければならない」（十和田市）
- ・「外人ハウスに入居している個別集金者に負担が掛かる」（三沢市）
- ・「①不在者に何度も訪問②入会拒否が多い担当班長等が集金訪問を嫌がっている。」（おいらせ町） 等

- ⇒ 町内会費を徴収している組織のうち、約7割（298組織）が、「特に困っていることはない」と回答。
- ⇒ 一方で、「現金での回収に時間がかかっている組織」は、約2割(89組織)。「回収した現金の管理の負担を感じている組織」は、約1割（27組織）。「効率的な回収方法に見直したいと考える組織」は、約1割（43組織）存在している。

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

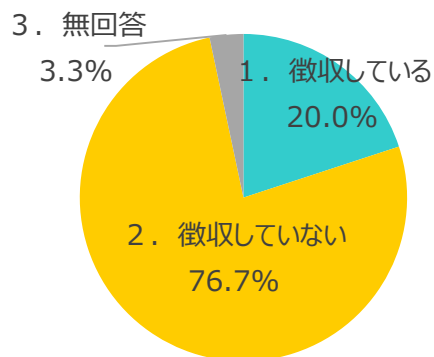
<問14> 入会費を徴収していますか。当てはまるもの1つに○をしてください。

※徴収している場合、①集金方法について、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 徴収している	96	20.0%
2. 徴収していない	369	76.7%
3. 無回答	16	3.3%
計	481	100.0%

<入会費を徴収していますか>



⇒ 全体の2割

※「1. 徴収している」と回答した組織の①方法>

①集金方法 (当てはまるもの全て)

項目	回答数	%
1. 班長が入会希望者宅に個別訪問し、現金で回収している	72	75.0%
2. 入会希望者が町内会長に現金を持参する	20	20.8%
3. 入会希望者に町内会名義の口座に振り込んでもらう	1	1.0%
4. その他	5	5.2%
5. 無回答	1	1.0%
計	99	

※%は、問14で「1.徴収している」と回答した数「96」で計算

<その他 (※一部自由記述内容) >

・「会計にもっていく」等

⇒ 徴収している組織のうち、約8割が「班長が会員宅に個別訪問し、現金で回収している」。

2. 調査結果について

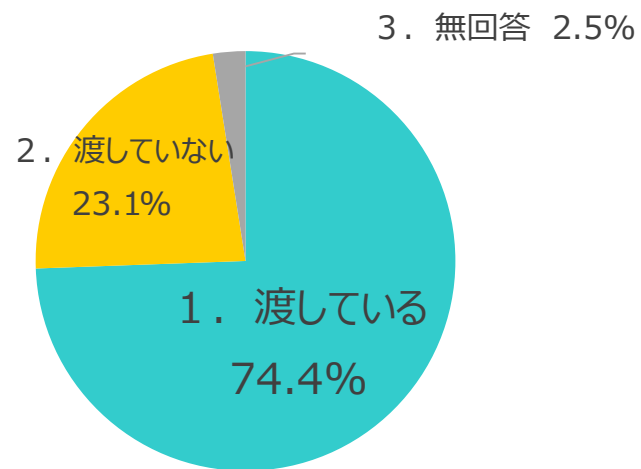
(3) 町内会の運営に関すること

＜問15＞ 役員に手当（お礼報酬的なもの）や活動費を渡していますか。当てはまるもの1つに○をしてください。

＜回答結果＞

項目	回答数	構成比
1. 渡している	358	74.4%
2. 渡していない	111	23.1%
3. 無回答	12	2.5%
計	481	100.0%

＜役員への手当や活動費について＞



⇒ 「役員報酬がある組織」 ⇒ 全体の約7割。

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

<問16> 町内会の活動情報等（市町村の広報配布含む）の会員間での情報共有・伝達の方法について、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果>

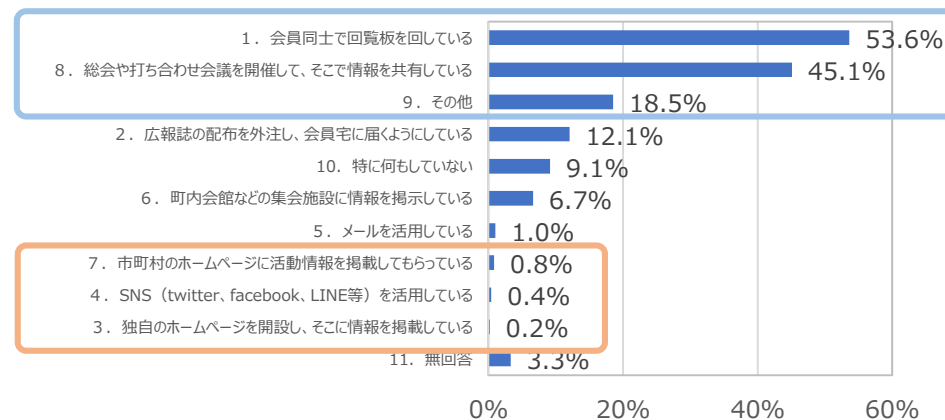
項目	回答数	%
1. 会員同士で回覧板を回している	258	53.6%
2. 広報誌の配布を外注し、会員宅に届くようにしている	58	12.1%
3. 独自のホームページを開設し、そこに情報を掲載している	1	0.2%
4. SNS (twitter, facebook, LINE等) を活用している	2	0.4%
5. メールを活用している	5	1.0%
6. 町内会館などの集会施設に情報を掲示している	32	6.7%
7. 市町村のホームページに活動情報を掲載してもらっている	4	0.8%
8. 総会や打ち合わせ会議を開催して、そこで情報を共有している	217	45.1%
9. その他	89	18.5%
10. 特に何もしていない	44	9.1%
11. 無回答	16	3.3%
計	726	

※%は、回答組織数「481」で計算

<その他（※一部自由記述内容）>

・「班長もしくは常会長が会員宅に配布している」（七戸町）、「班長が配布している」（おいらせ町）、「班長の下に組長がいて会員へ届けている」（六ヶ所村）、「町内会員には各班長、会員以外（学生等）は老人会が毎戸配布」（十和田市）等

<会員間での情報共有・伝達の方法について>



<回答数の多い項目>

- ・ 会員同士で回覧版を回している
- ・ 総会や打合せ会議を開催して、そこで情報を共有している
- ・ その他

<回答数の少ない項目>

- ・ 「ホームページを開設し、情報を掲載している」
- ・ 「SNSを活用している」
- ・ 「市町村のホームページに活動情報を掲載してもらっている」

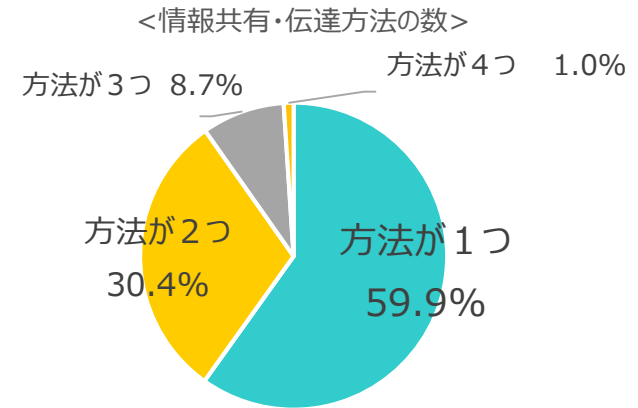
2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

<参考> 町内会における会員間での情報共有・伝達の方法の数

(参考) ※問16の回答結果から整理

項目	回答数	構成比
1. 情報共有・伝達方法が1つ	288	59.9%
2. 情報共有・伝達方法が2つ	146	30.4%
3. 情報共有・伝達方法が3つ	42	8.7%
4. 情報共有・伝達方法が4つ	5	1.0%
計	481	



⇒ 情報共有・伝達方法が「1つ」の組織は、全体の約6割。
 情報共有・伝達方法が「複数」の組織は、全体の約4割。

2. 調査結果について

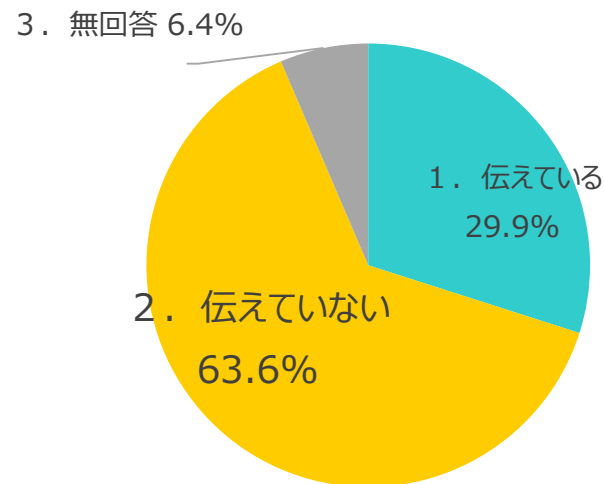
(3) 町内会の運営に関すること

<問17> 会員以外の地域住民に町内会が実施する活動を伝えていますか。当てはまるもの1つに○をしてください。※「1 伝えている」場合、情報伝達の方法について、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 伝えている	144	29.9%
2. 伝えていない	306	63.6%
3. 無回答	31	6.4%
計	481	100.0%

<会員以外の地域住民との活動の共有について>



⇒ 会員以外と活動を共有している組織は、全体の約3割。

2. 調査結果について

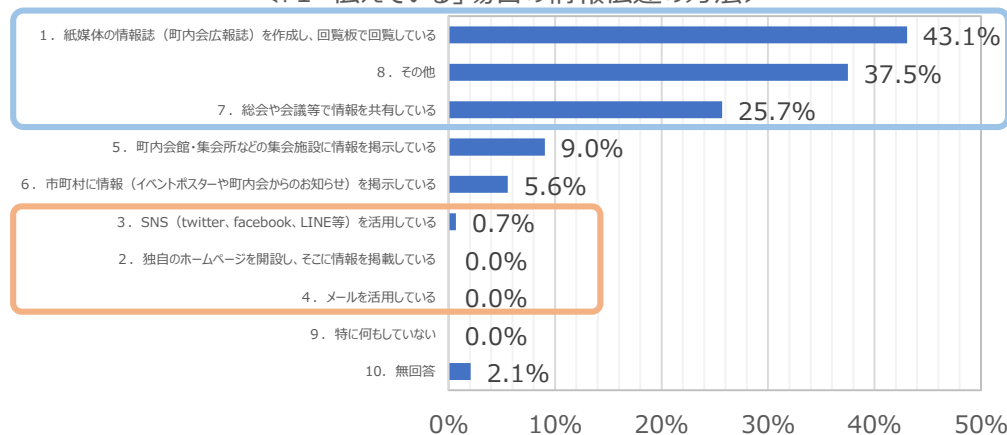
(3) 町内会の運営に関すること

<問17> 会員以外の地域住民に町内会が実施する活動を伝えていきますか。当てはまるもの1つに○をしてください。※「1 伝えている」場合、情報伝達の方法について、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果> ※問17で「1. 伝えている」と回答した組織の方法>

項目	回答数	%
1. 紙媒体の情報誌（町内会広報誌）を作成し、回覧板で回覧している	62	43.1%
2. 独自のホームページを開設し、そこに情報を掲載している	0	0.0%
3. SNS（twitter、facebook、LINE等）を活用している	1	0.7%
4. メールを活用している	0	0.0%
5. 町内会館・集会所などの集会施設に情報を掲示している	13	9.0%
6. 市町村に情報（イベントポスターや町内会からのお知らせ）を掲示している	8	5.6%
7. 総会や会議等で情報を共有している	37	25.7%
8. その他	54	37.5%
9. 特に何もしていない	0	0.0%
10. 無回答	3	2.1%
計	178	

<「1 伝えている」場合の情報伝達の方法>



※%は、回答組織数「144」で計算

<その他（※一部自由記述内容）>

・「口頭伝達及び紙媒体を渡している。」（十和田市）、「会長が直接持参配布している。」（六戸町）、「紙にプリント作成し、各家庭に配布。」（七戸町）、「町内放送をかけている。」（六ヶ所村）、「お知らせ等ある場合は班長さん配布してもらう。」（おいらせ町） 等

<回答数の多い項目>

- ・「紙媒体の情報誌（町内会広報誌）を作成し、回覧板で回覧している」
- ・「その他」
- ・「総会や会議等で情報を共有している」 等

<回答数の少ない項目>

- ・「メールの活用」
- ・「独自のホームページを開設し、そこに情報を掲載している」
- ・「SNS（twitter、facebook、LINE 等）を活用している」 等

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

<問18> 情報発信・伝達における困りごとについて、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	%
1. 回覧板の準備（回覧物の整理等）が負担となっている	66	13.7%
2. 回覧物が戻ってくるまでに時間がかかっている	101	21.0%
3. 回覧物が途中で止まっていることがある	94	19.5%
4. 回覧の効果（読まれているかどうか）がわからない	118	24.5%
5. インターネットやSNSなど回覧板以外の、情報発信・伝達をしたいが、どうしたらよいかわからない	8	1.7%
6. 町内会館・集会所などの集会施設への掲示の効果がわからない	20	4.2%
7. 未加入者に対して情報を発信したいがどうしたらよいかわからない	30	6.2%
8. その他	22	4.6%
9. 特になし	209	43.5%
10. 無回答	43	8.9%
計	711	

<その他（※一部自由記述内容）>

- ・「ゴミ出しルールを守られず回覧板で周知するも改善が見られず」（十和田市）
- ・「報伝達の班長達が高年齢となり、細かい事に対応出来ない、又理解出来ない。」（十和田市）
- ・「高齢者は読まない。」（おいらせ町）
- ・「行政からの広報配布が高齢化により困難になっている。」（十和田市）
- ・「回覧してももどってこないのをやめた。」（十和田市）
- ・「集会所無し、会長宅で総会（役委員会）」（三沢市）
- ・「回覧板そのものが負担、ここに通知・連絡を。」（七戸町）
- ・「町内会報発行が全て会長任せになっている。」（十和田市）
- ・「回覧板をまわすが読んでいるか？」（三沢市）
- ・「配布した会報を読まない人が多いようだ。」（おいらせ町）等

※%は、回答数「481」で計算

①回覧版における問題認識

- ・（回覧前）「回覧板の準備（回覧物の整理等）が負担となっている」 … 66組織
- ・（回覧中）「回覧物が戻ってくるまでに時間がかかっている」 … 101組織
- ・（ " " ）「回覧物が途中で止まっていることがある」 … 94組織
- ・（既存の方法の機能）「回覧の効果（読まれているかわからない）がわからない」 … 118組織

②新たに取組を始めたいと考えている組織の困り事

- ・「インターネットやSNSなど回覧板以外の、情報発信・伝達をしたいが、どうしたらよいかわからない」 … 8組織
- ・「未加入者に対して情報を発信したいがどうしたらよいかわからない」 … 30組織

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

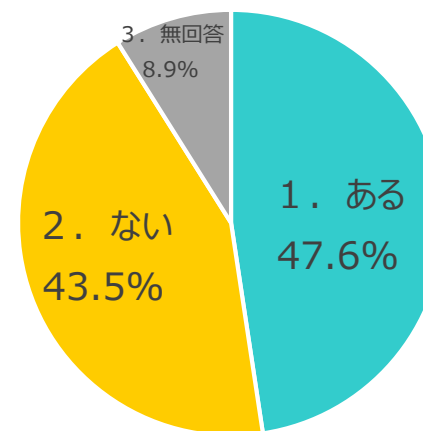
＜問18＞ 情報発信・伝達における困りごとについて、当てはまるもの全てに○をしてください。

(参考) ※問18の回答結果から整理

① 情報発信・伝達における困りごとについて

項目	回答数	構成比
1. 困り事がある	229	47.6%
2. 困り事はない	209	43.5%
3. 無回答	43	8.9%
計	481	100.0%

＜情報発信における困り事の有無＞



⇒ 情報発信・伝達において、何かしらの「困り事がある」と感じている組織は、全体の約5割。

2. 調査結果について

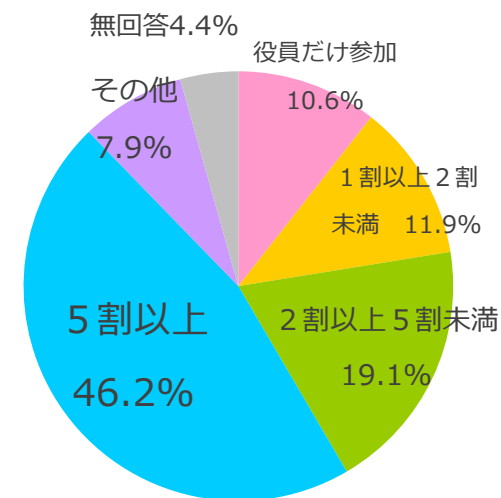
(3) 町内会の運営に関すること

〈問19〉 総会への地域住民の参加状況について、当てはまるもの1つに○をしてください。

〈回答結果〉

項目	回答数	構成比
1. 役員だけ参加している	51	10.6%
2. 役員のほか1割以上2割未満の住民が参加している	57	11.9%
3. 役員のほか2割以上5割未満の住民が参加している	92	19.1%
4. 5割以上の住民が参加している	222	46.2%
5. その他	38	7.9%
6. 無回答	21	4.4%
計	481	100.0%

〈総会への地域住民の参加状況について〉



⇒ 「5割以上の住民が参加している」町内会は、全体の約5割。

2. 調査結果について

(3) 町内会の運営に関すること

<問20> 町内会の運営方法や活動内容の決め方について、当てはまるもの1つに○をしてください。※「2. 会員以外の地域住民の意見も聞いて決めている。」場合、意見を集める方法について、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 会員の意見を聞き決めている	187	38.9%
2. 会員以外の地域住民の意見も聞いて決めている	128	26.6%
3. 毎年、前年と同じ取組を継続している	104	21.6%
4. その他	4	0.8%
5. 無回答、無効回答	58	12.1%
計	481	100.0%

⇒ 全体の約4割で、
「会員の意見を聞いて決めている」

※「2. 会員以外の地域住民の意見も聞いて決めている。」と回答した組織（128組織）の①意見を集める方法>（当てはまるもの全て）

項目	回答数	%
1. 地域住民へのアンケート調査を実施して意見を集めている	10	7.8%
2. 座談会等を開催して意見を集めている	16	12.5%
3. 総会等の会議に出席してもらい意見を聞いている	77	60.2%
4. その他	29	22.7%
5. 無回答	2	1.6%
計	134	

※%は、問20で「2. 会員以外の地域住民の意見も聞いて決めている。」と回答した数「128」で計算

<その他（※一部自由記述内容）>

- ・「集会所の所に目安箱を入れ、声を聞いている。」（十和田市）
- ・「班長を通して意見を聞いている」（三沢市）
- ・「他地域の交流会を設け聞く」（六ヶ所村）等

⇒ 「会員以外の地域住民の意見も聞いて決めている」組織のうち、約6割は「総会等の会議」で意見を聞いている。「アンケート調査の実施」や「座談会等を開催する」方法で実施している組織は、それぞれ約1割。

2. 調査結果について

(4) 町内会での取組等に関すること

<ここでは、次のようなことがわかります>

- ・回答者が思う町内会活動を行うメリット 等

2. 調査結果について

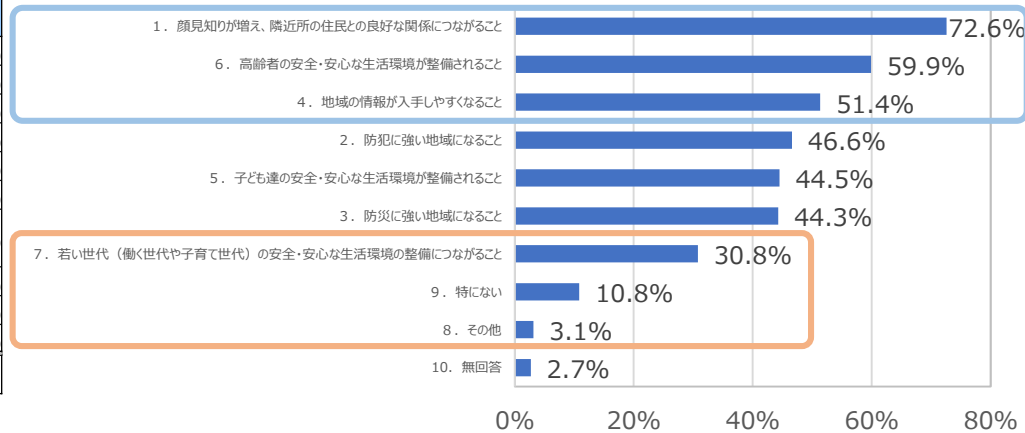
(4) 町内会での取組等に関すること

<問21> 回答者自身が思う町内会活動を行うことのメリットについて、当てはまるもの全てに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	%
1. 顔見知りが増え、隣近所の住民との良好な関係につながる	349	72.6%
2. 防犯に強い地域になる	224	46.6%
3. 防災に強い地域になる	213	44.3%
4. 地域の情報が入手しやすくなる	247	51.4%
5. 子ども達の安全・安心な生活環境が整備される	214	44.5%
6. 高齢者の安全・安心な生活環境が整備される	288	59.9%
7. 若い世代（働く世代や子育て世代）の安全・安心な生活環境の整備につながる	148	30.8%
8. その他	15	3.1%
9. 特にない	52	10.8%
10. 無回答	13	2.7%
計	1,763	

<回答者自身が思う町内会活動を行うことのメリットについて>



※%は、回答組織数「481」で計算

<その他（※一部自由記述内容）>

・「地域の維持」（六戸町）、「災害時における安否確認及び災害物資の支給に対応できる。」（十和田市）、「ゴミステーションの管理」（おいらせ町）、「連帯感の醸成」（十和田市）、「地域での見守りがし易くなること」（三沢市）、「自治体と住民の連携により行政が効率的になる。」（おいらせ町） 等

<回答数の多い項目>

- ・「顔見知りが増え、隣近所の住民との良好な関係につながること」
- ・「高齢者の安全・安心な生活環境が整備されること」
- ・「地域の情報が入手しやすくなること」

<回答数の少ない項目>

- ・「その他」
- ・「特にない」
- ・「若い世代（働く世代や子育て世代）の安全・安心な生活環境の整備につながること」

2. 調査結果について

(5) 地域での問題の発生状況に関すること

<ここでは、次のようなことがわかります>

- ・回答者が認識している「地域での問題」、「問題への対応のために必要だと思うこと」等

2. 調査結果について

(5) 地域での問題の発生状況に関すること

〈問22〉 あなたの町内会がある地域の問題について、それぞれ番号を記入してください。

①発生している…10個まで ② ①のうち深刻なもの…3つまで ③ ①のうち対策を取りたいもの…3つまで

〈回答結果〉 ※①発生しているもの ※回答組織数：389組織／481組織

	項目	回答数	%
生活基盤	1 集会所・公民館等の維持が困難	73	15.2%
	2 道路・農道・橋梁の維持が困難	39	8.1%
	3 小学校等の維持が困難	9	1.9%
	4 上下水道等の維持が困難	12	2.5%
	5 住宅の荒廃（老朽家屋の増加）	153	31.8%
産業基盤	6 共同利用機械・施設等の維持が困難	11	2.3%
	7 用排水路・ため池等の荒廃	28	5.8%
	8 耕作放棄地の増大	74	15.4%
	9 不在村者有林の増大	19	4.0%
	10 働き口の減少	78	16.2%
自然環境	11 森林の荒廃	22	4.6%
	12 河川・地下水等の流動変化の拡大	12	2.5%
	13 河川・湖沼・地下水等の水質汚濁	13	2.7%
	14 里地里山などでの生態系の変化	18	3.7%
災害	15 土砂災害の発生	11	2.3%
	16 洪水の発生	14	2.9%
	17 獣害・病虫害の発生	44	9.1%
地域文化	18 神社・仏閣等の荒廃	43	8.9%
	19 伝統的祭事の衰退	90	18.7%
	20 地域の伝統的生活文化の衰退	41	8.5%
	21 伝統芸能の衰退	44	9.1%

	項目	回答数	%
景観	22 棚田や段々畑等の農山村景観の荒廃	9	1.9%
	23 茅葺集落や生垣等の集落景観の荒廃	2	0.4%
	24 （市街地内の）低未利用地の増加	18	3.7%
	25 ごみの不法投棄の増加	171	35.6%
	26 空き巣被害等の犯罪の増加	4	0.8%
住民生活	27 冠婚葬祭等の日常生活扶助機能の低下	36	7.5%
	28 災害時における相互扶助機能の低下	42	8.7%
	29 低未利用施設周辺環境悪化	10	2.1%
	30 空き家の増加	179	37.2%
	31 公共交通の利便性の低下	99	20.6%
	32 商店・スーパー等の閉鎖	71	14.8%
	33 医療提供体制の弱体化	24	5.0%
交流等	34 地域住民の一体感や連帯意識の低下	187	38.9%
	35 広報・連絡や寄合の回数の減少	51	10.6%
	36 町内会で行ってきた行事の減少	96	20.0%
	37 連合町内会などの広域的活動の減少	56	11.6%
	38 住民による地域づくり活動の停滞・減少	133	27.7%
	39 地域外の人との交流活動やイベント等の減少	70	14.6%
	40 地域外からの訪問者の減少	20	4.2%
41 その他	19	4.0%	
無回答		92	19.1%
	計	2,237	

※%は、アンケート回答組織数「481」で計算

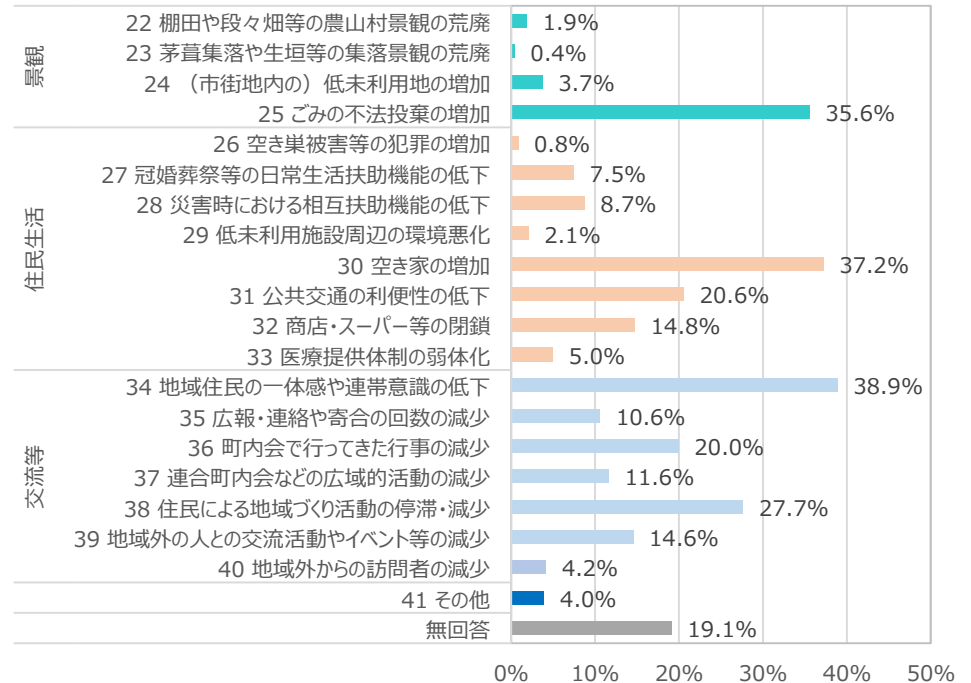
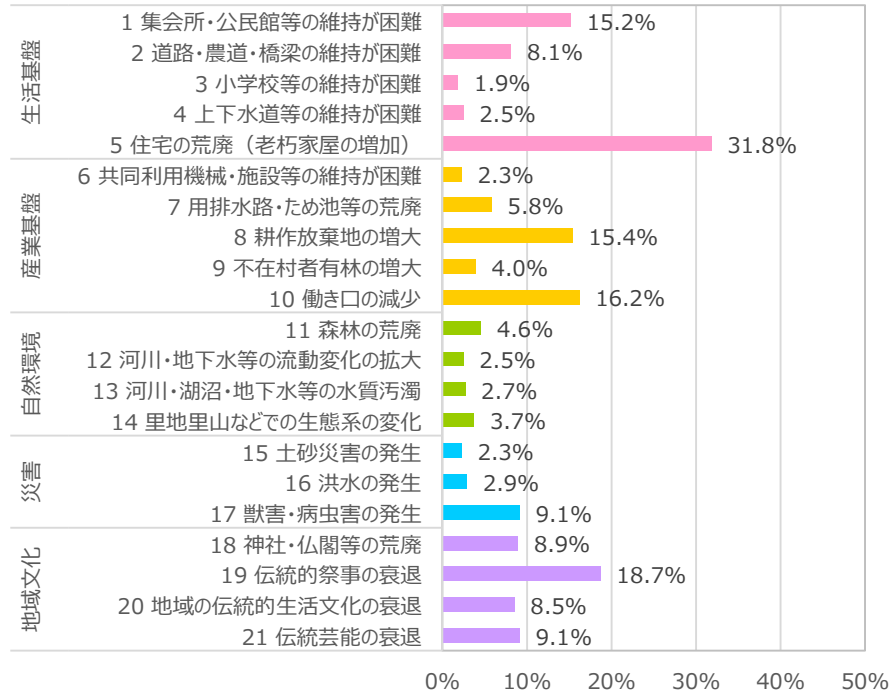
2. 調査結果について

(5) 地域での問題の発生状況に関すること

〈問22〉 あなたの町内会がある地域の問題について、それぞれ番号を記入してください。

①発生している…10個まで ② ①のうち深刻なもの…3つまで ③ ①のうち対策を取りたいもの…3つまで

〈回答結果〉 ※①発生しているもの



〈その他（※一部自由記述内容）〉

・「会員の減少と高齢化」（おいらせ町）、「高齢化が一番のネック」（三沢市）、「集会所がない」（三沢市）、「連帯感の醸成」（十和田市）、「若い世代の地域への関心の低下」（三沢市）、「ペット犬のさんぽ時、フン、尿被害、宅地内、土留め」（三沢市）、「①町内会への負担増②共有地や保有者不明の土地が多く整備が停滞」（おいらせ町） 等

2. 調査結果について

(5) 地域での問題の発生状況に関すること

〈問22〉 あなたの町内会がある地域の問題について、それぞれ番号を記入してください。

①発生している…10個まで ② ①のうち深刻なもの…3つまで ③ ①のうち対策を取りたいもの…3つまで

〈回答結果〉

⇒ 上北地域全体でみると、

〈回答数の多い項目〉

- ・①「地域住民の一体感や連帯意識の低下」
- ・②「空き家の増加」
- ・③「ごみの不法投棄の増加」
- ・④「住宅の荒廃（老朽家屋の増加）」
- ・⑤「住民による地域づくり活動の停滞・減少」

〈回答数の少ない項目〉

- ・「茅葺集落や生垣等の集落景観の荒廃」
- ・「空き巣被害等の犯罪の増加」
- ・「棚田や段々畑等の農山村景観の荒廃」
- ・「小学校等の維持が困難」
- ・「低未利用施設周辺環境悪化」

2. 調査結果について

(5) 地域での問題の発生状況に関すること

〈問22〉 あなたの町内会がある地域の問題について、それぞれ番号を記入してください。

①発生している…10個まで ② ①のうち深刻なもの…3つまで ③ ①のうち対策を取りたい…3つまで

〈回答結果〉 ※③ ①のうち対策を取りたいもの

	項目	回答数	%
生活基盤	1 集会所・公民館等の維持が困難	33	8.5%
	2 道路・農道・橋梁の維持が困難	23	5.9%
	3 小学校等の維持が困難	1	0.3%
	4 上下水道等の維持が困難	6	1.5%
	5 住宅の荒廃（老朽家屋の増加）	28	7.2%
産業基盤	6 共同利用機械・施設等の維持が困難	0	0.0%
	7 用排水路・ため池等の荒廃	9	2.3%
	8 耕作放棄地の増大	20	5.1%
	9 不在村者有林の増大	3	0.8%
	10 働き口の減少	5	1.3%
自然環境	11 森林の荒廃	5	1.3%
	12 河川・地下水等の流動変化の拡大	2	0.5%
	13 河川・湖沼・地下水等の水質汚濁	2	0.5%
災害	14 里地里山などでの生態系の変化	1	0.3%
	15 土砂災害の発生	4	1.0%
	16 洪水の発生	6	1.5%
	17 獣害・病虫害の発生	8	2.1%
地域文化	18 神社・仏閣等の荒廃	17	4.4%
	19 伝統的祭事の衰退	12	3.1%
	20 地域の伝統的生活文化の衰退	3	0.8%
	21 伝統芸能の衰退	9	2.3%

	項目	回答数	%
景観	22 棚田や段々畑等の農山村景観の荒廃	1	0.3%
	23 茅葺集落や生垣等の集落景観の荒廃	1	0.3%
	24 (市街地内の) 低未利用地の増加	1	0.3%
	25 ごみの不法投棄の増加	67	17.2%
	26 空き巣被害等の犯罪の増加	1	0.3%
住民生活	27 冠婚葬祭等の日常生活扶助機能の低下	3	0.8%
	28 災害時における相互扶助機能の低下	9	2.3%
	29 低未利用施設周辺的环境悪化	3	0.8%
	30 空き家の増加	43	11.1%
	31 公共交通の利便性の低下	11	2.8%
	32 商店・スーパー等の閉鎖	10	2.6%
	33 医療提供体制の弱体化	4	1.0%
交流等	34 地域住民の一体感や連帯意識の低下	53	13.6%
	35 広報・連絡や寄合の回数の減少	7	1.8%
	36 町内会で行ってきた行事の減少	14	3.6%
	37 連合町内会などの広域的活動の減少	3	0.8%
	38 住民による地域づくり活動の停滞・減少	34	8.7%
	39 地域外の人との交流活動やイベント等の減少	4	1.0%
	40 地域外からの訪問者の減少	3	0.8%
41 その他	5	1.3%	
無回答		247	63.5%
	計	721	

※%は、問22①にていずれかに回答した回答組織数「389」にて計算

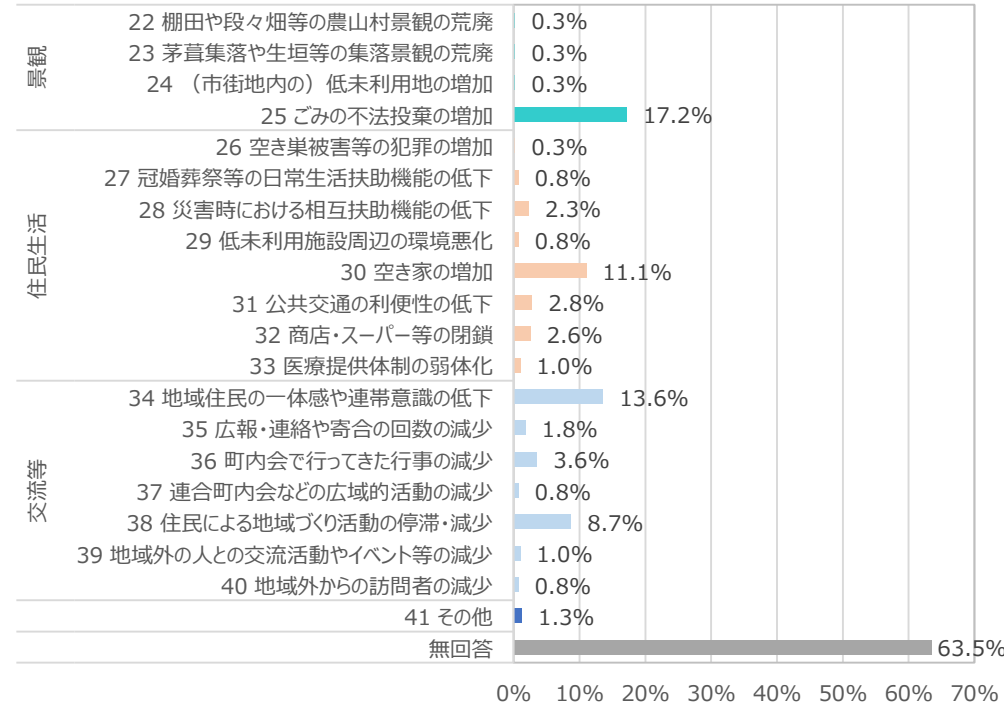
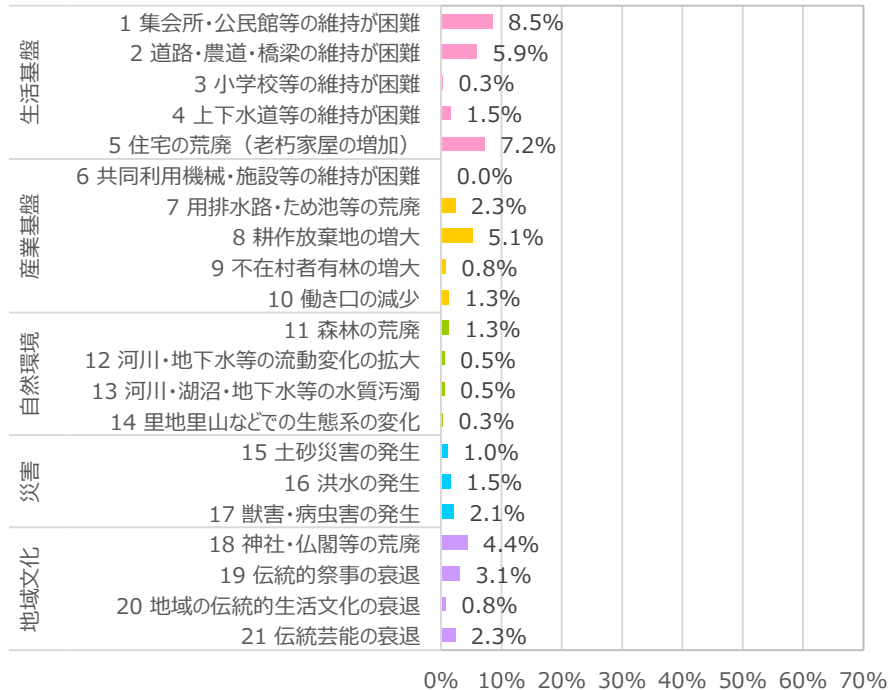
2. 調査結果について

(5) 地域での問題の発生状況に関すること

〈問22〉 あなたの町内会がある地域の問題について、それぞれ番号を記入してください。

①発生している…10個まで ② ①のうち深刻なもの…3つまで ③ ①のうち対策を取りたいもの…3つまで

〈回答結果〉 ※③ ①のうち対策を取りたいもの



2. 調査結果について

(5) 地域での問題の発生状況に関すること

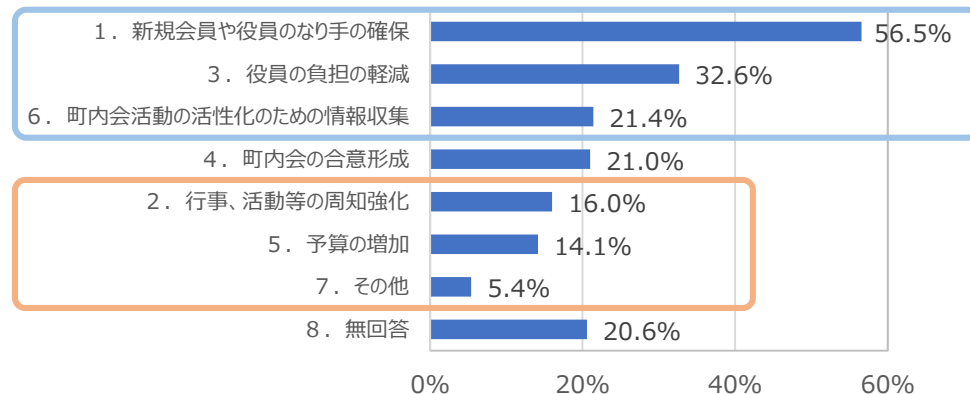
〈問23〉 問題への対応のために特に必要だと思うことについて、番号を記入してください。（3つまで）

〈回答結果〉

項目	回答数	%
1. 新規会員や役員のなり手の確保	272	56.5%
2. 行事、活動等の周知強化	77	16.0%
3. 役員の負担の軽減	157	32.6%
4. 町内会の合意形成	101	21.0%
5. 予算の増加	68	14.1%
6. 町内会活動の活性化のための情報収集	103	21.4%
7. その他	26	5.4%
8. 無回答	99	20.6%
計	903	

※%は、回答組織数「481」で計算

〈問題への対応のために特に必要だと思うことについて〉



〈その他（※一部自由記述内容）〉

・「行政による支援」（東北町）、「町との話し合い。」（おいらせ町）、「行政とのはなし合い」（六ヶ所村）、「町内会の合併」（十和田市）、「行政との連携・情報交換」（三沢市）、「住民の意識改革と法整備」（おいらせ町） 等

〈回答数の多い項目〉

- ・「新規会員や役員のなり手の確保」
- ・「役員の負担の軽減」
- ・「町内会活動の活性化のための情報収集」

〈回答数の少ない項目〉

- ・「その他」
- ・「予算の増加」
- ・「行事、活動等の周知強化」

2. 調査結果について

(6) コロナ禍で起こっている問題に関すること

<ここでは、次のようなことがわかります>

- ・ 回答者が認識している「コロナ下での町内会活動で起こっている問題」 等

2. 調査結果について

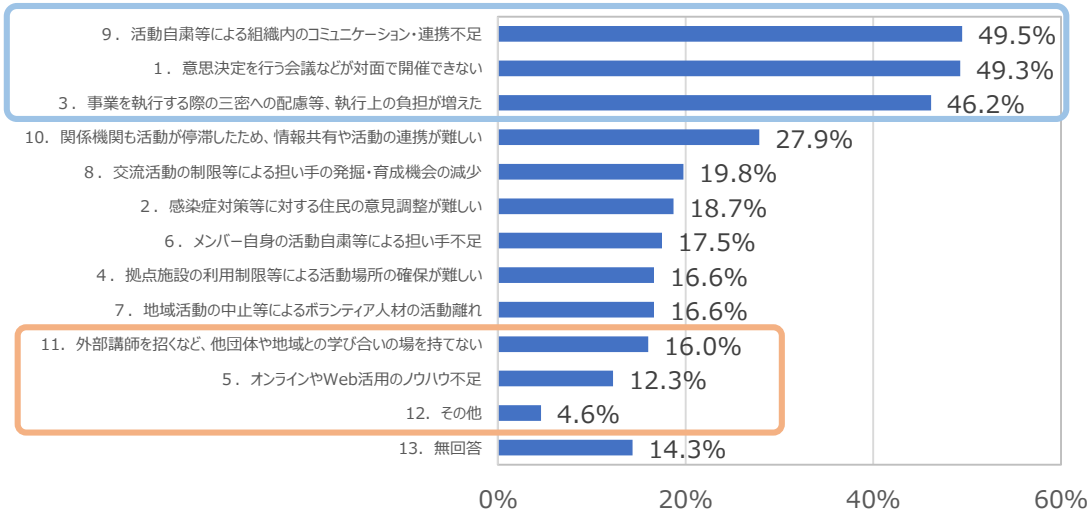
(6) コロナ禍で起こっている問題に関すること

〈問24〉 コロナ禍での町内会活動で起こっている問題について、番号をすべて記入してください。

〈回答結果〉

項目	回答数	%
1. 意思決定を行う会議などが対面で開催できない	237	49.3%
2. 感染症対策等に対する住民の意見調整が難しい	90	18.7%
3. 事業を執行する際の三密への配慮等、執行上の負担が増えた	222	46.2%
4. 拠点施設の利用制限等による活動場所の確保が難しい	80	16.6%
5. オンラインやWeb活用のノウハウ不足	59	12.3%
6. メンバー自身の活動自粛等による担い手不足	84	17.5%
7. 地域活動の中止等によるボランティア人材の活動離れ	80	16.6%
8. 交流活動の制限等による担い手の発掘・育成機会の減少	95	19.8%
9. 活動自粛等による組織内のコミュニケーション・連携不足	238	49.5%
10. 関係機関も活動が停滞したため、情報共有や活動の連携が難しい	134	27.9%
11. 外部講師を招くなど、他団体や地域との学び合いの場を持ってない	77	16.0%
12. その他	22	4.6%
13. 無回答	69	14.3%
計	1,487	

〈コロナ禍での町内会活動で起こっている問題について〉



※%は、回答組織数「481」で計算

〈その他（※一部自由記述内容）〉

・「なし」（六戸町）、「無いです」（七戸町）、「特に無し」（十和田市）、「娯楽や観光、スポーツ活動の制限」（十和田市）、「町内会の総会、レクが出来ないので町内交流が地域活動の中止により町内の結束が心配、出来ない。」（三沢市）、「会議等行なっても必要最小限の時間になる。」（三沢市） 等

〈回答数の多い項目〉

- ・「活動自粛等による組織内のコミュニケーション・連携不足」
- ・「意思決定を行う会議などが対面で開催できない」
- ・「事業を執行する際の三密への配慮等、執行上の負担が増えた」

〈回答数の少ない項目〉

- ・「その他」
- ・「オンラインやWeb活用のノウハウ不足」
- ・「外部講師を招くなど、他団体や地域との学び合いの場を持ってない」

2. 調査結果について

(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

<ここでは、次のようなことがわかります>

- ・若い世代の関わり の程度、若い世代の参画の必要性に対する回答者の認識 等

2. 調査結果について

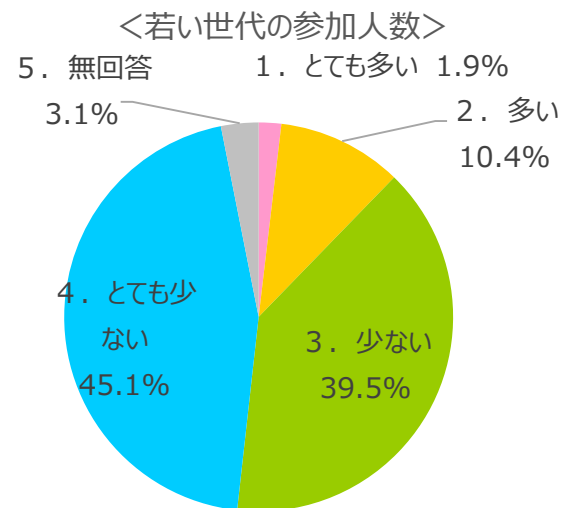
(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

<問25①> あなたの町内会での若い世代（20～50代）の参加について、教えてください。

<回答結果>

参加人数

項目	回答数	構成比
1. とても多い	9	1.9%
2. 多い	50	10.4%
3. 少ない	190	39.5%
4. とても少ない	217	45.1%
5. 無回答	15	3.1%
計	481	100.0%



⇒ 全体の約5割で、若い世代の参加人数は少ない（「とても少ない」、「少ない」）と認識している。

2. 調査結果について

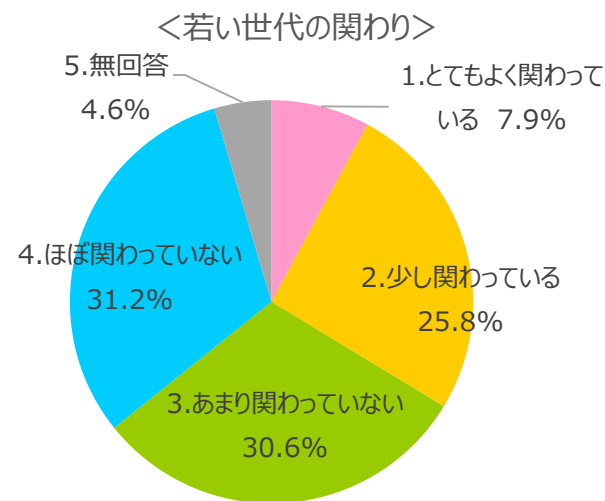
(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

<問25①> あなたの町内会での若い世代（20～50代）の参加について、教えてください。

<回答結果>

関わり

項目	回答数	構成比
1.とてもよく関わっている	38	7.9%
2.少し関わっている	124	25.8%
3.あまり関わっていない	147	30.6%
4.ほぼ関わっていない	150	31.2%
5.無回答	22	4.6%
計	481	100.0%



⇒ 全体の約6割で、若い世代は関わっていない（「3. あまり関わっていない」、
「4.ほぼ関わっていない」）と認識している。

2. 調査結果について

(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

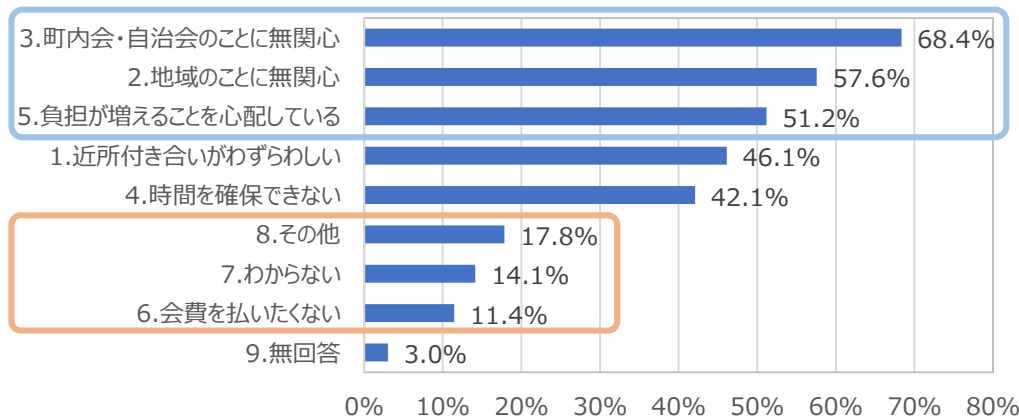
<問25②> (問25①の関わりで3または4と回答した場合) その要因は何だと思えますか。
(3つまで番号を記入)

<回答結果>

項目	回答数	%
1. 近所付き合いがわずらわしい	137	46.1%
2. 地域のことに無関心	171	57.6%
3. 町内会のことに無関心	203	68.4%
4. 時間を確保できない	125	42.1%
5. 負担が増えることを心配している	152	51.2%
6. 会費を払いたくない	34	11.4%
7. わからない	42	14.1%
8. その他	53	17.8%
9. 無回答	9	3.0%
計	926	

※ %は、①の関わりの中で「3または4」を選択した件数(297)にて計算

<(問25①の関わりで3または4の場合) その要因は何だと思えますか>



<その他>

・記載なし

<回答数の多い項目>

- ・「町内会のことに無関心」
- ・「地域のことに無関心」
- ・「負担が増えることを心配している」等

<回答数の少ない項目>

- ・「会費を払いたくない」
- ・「わからない」
- ・「その他」

2. 調査結果について

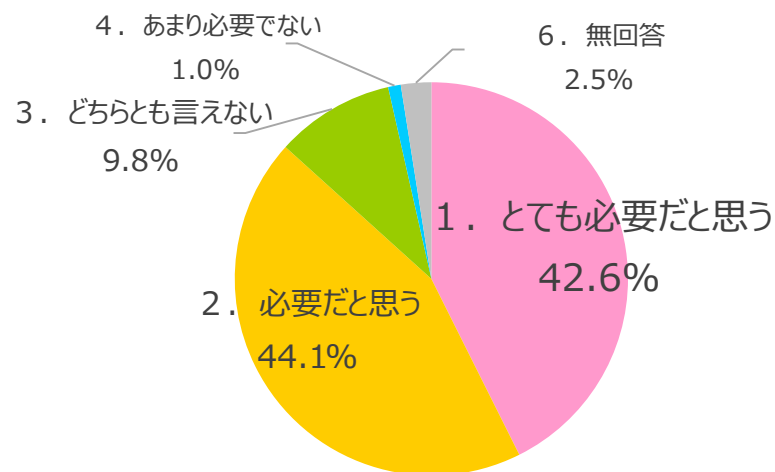
(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

〈問25③〉 町内会の活性化のために、若い世代が町内会に関わることは必要だと思いますか。（1つに○）

〈回答結果〉

項目	回答数	構成比
1. とても必要だと思う	205	42.6%
2. 必要だと思う	212	44.1%
3. どちらとも言えない	47	9.8%
4. あまり必要でない	5	1.0%
5. まったく必要でない	0	0.0%
6. 無回答	12	2.5%
計	481	100.0%

〈若い世代が町内会に関わることは必要だと思いますか〉



⇒ 全体の約9割で、若い世代が町内会に関わる必要と認識している。

2. 調査結果について

(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

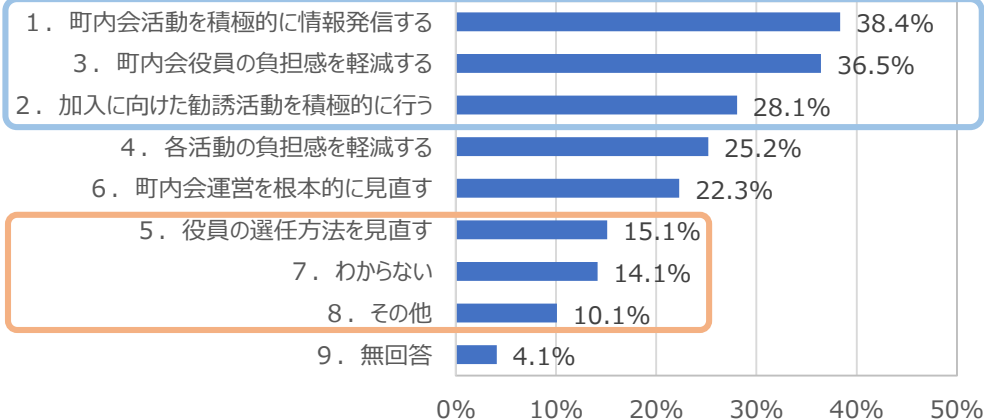
〈問25④〉 (③で1または2の場合) 参加促進のために何が必要だと思いますか。
(3つまで番号を記入)

〈回答結果〉

項目	回答数	%
1. 町内会活動を積極的に情報発信する	160	38.4%
2. 加入に向けた勧誘活動を積極的に行う	117	28.1%
3. 町内会役員の負担感を軽減する	152	36.5%
4. 各活動の負担感を軽減する	105	25.2%
5. 役員の選任方法を見直す	63	15.1%
6. 町内会運営を根本的に見直す	93	22.3%
7. わからない	59	14.1%
8. その他	42	10.1%
9. 無回答	17	4.1%
計	808	

※ %は、③で1または2を選択した件数(417)にて計算

〈若い世代の参加促進のために何が必要だと思いますか〉



〈その他(※一部自由記述内容)〉

・「参加しやすいイベント企画」(野辺地町)、「若い世代の関心ある行事を行う。」(三沢市)、「子供達を中心にした行事の推進」(六戸町)、「行政と町内会との連携」(三沢市)、「義務教育の時期から継続して意識改革が必要」(おいらせ町) 等

〈回答数の多い項目〉

- ・「町内会活動を積極的に情報発信する」
- ・「町内会役員の負担感を軽減する」
- ・「加入に向けた勧誘活動を積極的に行う」 等

〈回答数の少ない項目〉

- ・「その他」
- ・「わからない」
- ・「役員の選任方法を見直す」

2. 調査結果について

(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

＜問26＞ 地域の若い世代が、町内会と協力し、よりよい地域に向けて活動していくことへの考えについて、当てはまるもの1つに○をしてください。また、その理由について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

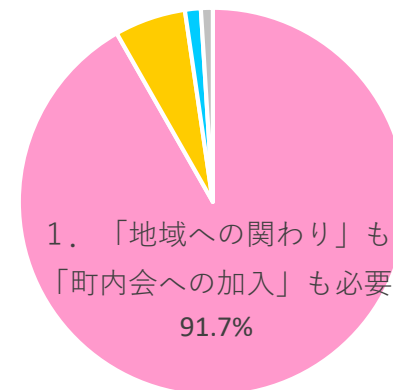
＜回答結果＞

① 考え

項目	回答数	%
1. 地域に関わったほうが良いし、町内会にも加入したほうが良い	278	91.7%
2. 地域に関わったほうが良いが、町内会に加入する必要はない	18	5.9%
3. 地域に関わる必要はないが、町内会には加入したほうが良い	4	1.3%
4. 地域に関わる必要もなく、組織に加入する必要もない	3	1.0%
5. 無回答	33	
計	336	100.0%

※ %は無回答を除いた件数（303）にて計算

＜若い世代の関わりと町内会への加入について＞



⇒ 全体の約9割で、若い世代の「地域への関わり」と「町内会への加入」が必要であると考えている。

2. 調査結果について

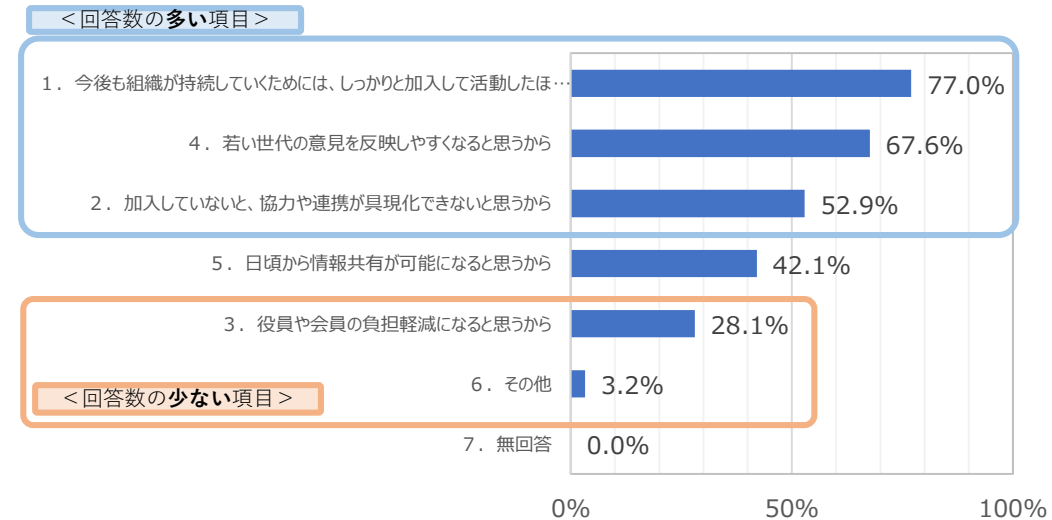
(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

<問26> 地域の若い世代が、町内会と協力し、よりよい地域に向けて活動していくことへの考えについて、当てはまるもの1つに○をしてください。また、その理由について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

<理由> ※「問26」で「1. 地域に関わったほうが良いし、町内会にも加入したほうが良い」と回答した組織（278組織）

項目	回答数	構成比
1. 今後も組織が持続していくためには、しっかりと加入して活動したほうが良いと思うから	214	77.0%
2. 加入していないと、協力や連携が具現化できないと思うから	147	52.9%
3. 役員や会員の負担軽減になると思うから	78	28.1%
4. 若い世代の意見を反映しやすくなると思うから	188	67.6%
5. 日頃から情報共有が可能になると思うから	117	42.1%
6. その他	9	3.2%
7. 無回答	0	0.0%
計	753	

※%は、「問26」で「1. 地域に関わったほうが良いし、町内会にも加入したほうが良い」と回答した組織（278組織）で計算



<その他（※一部自由記述内容）>

・「次の世代への意向がしやすい。」（十和田市）、「自分達のために活動していると思える。」（おいらせ町）、「自分の子供の将来の為に」（おいらせ町）、「町内会の人全員町内会加入が決まっている」（東北町）、「子供会山車組等との関係が深くなる」（おいらせ町）、「自治の精神は住民の基本的責務」（おいらせ町）

2. 調査結果について

(7) 町内会への若い世代の関わりに関すること

<問26> 地域の若い世代が、町内会と協力し、よりよい地域に向けて活動していくことへの考えについて、当てはまるもの1つに○をしてください。また、その理由について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

<理由>

※「問26」で「2. 地域に関わったほうが良いが、町内会に加入する必要はない」と回答した組織（18組織）の理由

項目	回答数	%
1. 加入していなくても、若い世代の力が必要なときは、地域のために協力しあえる関係性があるから	5	27.8%
2. 加入していなくても、町内会の運営や実働に支障はないから	4	22.2%
3. 若い世代は忙しい人が多いと思うし、強制できないから	13	72.2%
4. その他	0	0.0%
5. 無回答	0	0.0%
計	22	

※%は、問26で、「2. 地域に関わったほうが良いが、町内会に加入する必要はない」と回答した組織「18」で計算

※「問26」で「3. 地域に関わる必要はないが、町内会には加入したほうが良い」と回答した組織（4組織）の理由

項目	回答数	%
1. 自分達で、必要な活動は考えられるが、実働する人手が不足しているから	3	75.0%
2. 会員以外に情報共有する仕組みがないから	1	25.0%
3. 地域活動に関与していなくても、形式的に加入していることも大事だと思うから	3	75.0%
4. その他	0	0.0%
5. 無回答	0	0.0%
計	7	

※%は、問26で、「3. 地域に関わる必要はないが、町内会には加入したほうが良い」と回答した組織「4」で計算

※「問26」で「4. 地域に関わる必要もなく、組織に加入する必要もない」と回答した組織（3組織）の理由

項目	回答数	%
1. 地域のことは、自発的に組織に加入したい人だけで、加入している人のためだけにすれば良いと思うから	1	33.3%
2. 任意組織であり、未加入世帯の関与も加入促進も私達が考える必要はないと思うから	2	66.6%
3. その他	0	0.0%
4. 無回答	1	33.3%
計	4	

※%は、問26で、「4. 地域に関わる必要もなく、組織に加入する必要もない」と回答した組織「3」で計算

2. 調査結果について

(8) 行政との協働に関すること

〈ここでは、次のようなことがわかります〉

- ・ 上北管内の市町村の活動支援策や支援体制の認知度
- ・ 上北管内の町内会が取り組んでみたいこと
- ・ コミュニティづくりに役立つ学びの場への参加希望

2. 調査結果について

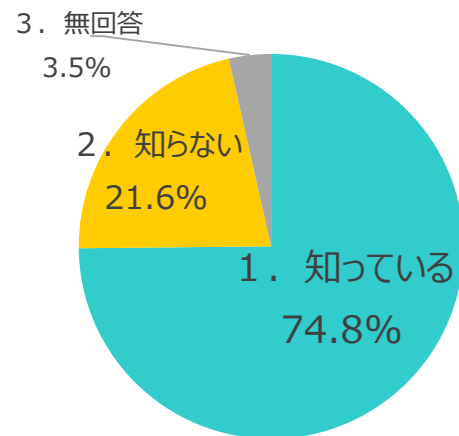
(8)行政との協働に関すること

<問27> お住まいの市町村の町内会活動等の支援策や支援体制を知っていますか。当てはまるもの1つに○をしてください。

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. 知っている	360	74.8%
2. 知らない	104	21.6%
3. 無回答	17	3.5%
計	481	100.0%

<市町村の町内会活動等の支援策等の理解について>



⇒ 全体の約7割の組織で、市町村の活動支援策や支援体制を知っている。

2. 調査結果について

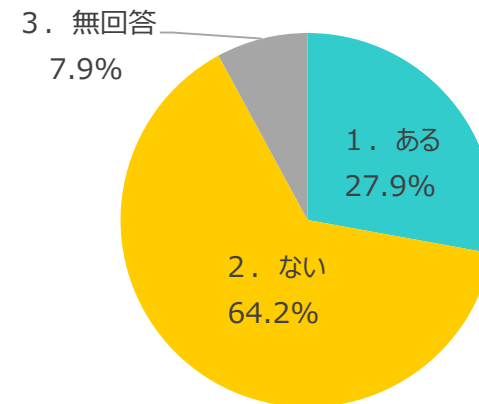
(8)行政との協働に関すること

<問28> 町内会の課題解決や活性化に向けて、具体的に取り組んでみたいことはありますか。（1つに○）

<回答結果>

項目	回答数	構成比
1. ある	134	27.9%
2. ない	309	64.2%
3. 無回答	38	7.9%
計	481	100.0%

<具体的に取り組んでみたいことはありますか>



⇒ 全体の約3割の組織で、取り組んでみたいことがある。

2. 調査結果について

(8) 行政との協働に関すること

<問28> 町内会の課題解決や活性化に向けて、具体的に取り組んでみたいことはありますか。（1つに○）

※「ある」と回答した組織（134組織）の具体的内容の一部（市町村別）

市町村名	内容
十和田市	「子供たちから地域連携を構築」、「町内会合併」、「子供会の再スタート」、「市から来る広報の件」
三沢市	「ICTを活用し、相方向情報伝達し若者が活動しやすい環境を整えたい。例）「アプリ」活用など」、「TNR活動」、「野良猫問題解決」
野辺地町	「若い人たちを募って交流会(バーベキューなど)」、「ある時は行政に相談する。」
七戸町	「高齢者1人暮らしへのヘルプ事業」、「若い世代の意識を高めるための交流会」
六戸町	「町内会のあり方検討会による課題抽出」、「掲示板の更新」
横浜町	「人口減少の為、4町内合併の協議会を作り、コミュニティーセンター設立計画を立て準備中。場所は〇〇〇を利用の予定です。協力お願い致します。」、「コミュニティー作りの仕方が判らない。」、「町会長集合して取り組み方法を話す場がほしい。どういう取り組みをしているか。色々な意見を聞いたり話す場があればいいと思う。」
東北町	「町内会にある各団体を一つにまとめる組織の形成」、「農村集落の安全・安心の活動。」
六ヶ所村	「町内会の世帯減少をとめたい。」、「町内会員の高齢化、神社の管理」、「小学校後地利用について」
おいらせ町	「取り組みたいが若い世代欠如」、「①年2回の町内一斉清掃②子供会の農園（サツマ芋植）③緑化事業の実施等」

2. 調査結果について

(8)行政との協働に関すること

<問28> 町内会の課題解決や活性化に向けて、具体的に取り組んでみたいことはありますか。（1つに○）

※「ある」と回答した組織（134組織）の回答状況（分野・市町村別）

分野	市町村名	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町
組織の運営に関すること		○	○	—	○	○	○	○	○	○
若い世代とのつながりに関すること		○	○	○	○	○	○	—	○	○
環境美化に関すること		○	○	—	○	○	—	—	○	○
子供に関すること		○	○	—	—	—	—	—	—	○
高齢者の暮らしに関すること		○	—	—	○	○	—	○	—	○
防災・防犯		○	○	—	—	○	○	○	—	○
イベントに関すること		○	—	—	—	—	—	○	—	—
その他（道路整備、ペット問題等）		○	○	—	—	○	—	○	○	○

2. 調査結果について

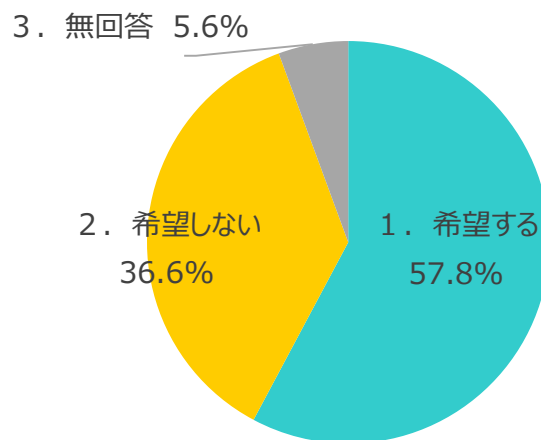
(8)行政との協働に関すること

＜問29＞ 今後町内会運営に役立つ勉強会等が開催された場合、参加を希望されますか。当
てはまるもの1つに○をしてください。

＜回答結果＞

項目	回答数	構成比
1. 希望する	278	57.8%
2. 希望しない	176	36.6%
3. 無回答	27	5.6%
計	481	100.0%

＜組織運営に役立つ勉強会等への参加希望について＞



⇒ 全体の約6割の組織で、学びの機会があれば参加したいと考えている。

2. 調査結果について

(9)地域の展望に関すること

〈ここでは、次のようなことがわかります〉

- ・回答者が認識している今後の展望、地縁組織の必要性、将来どのような組織でありたいか 等

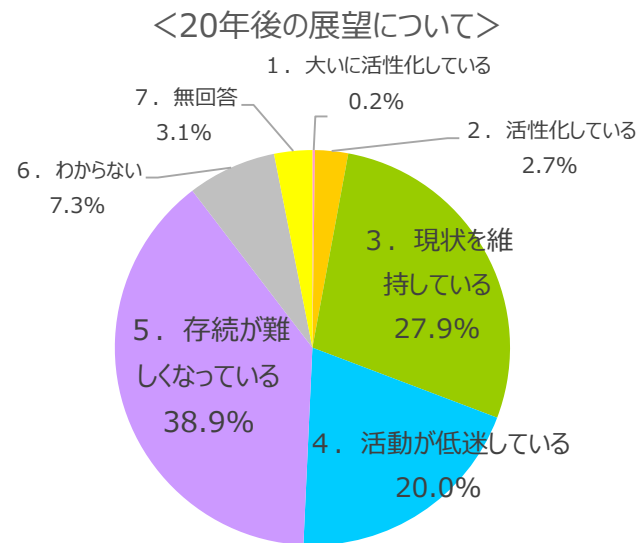
2. 調査結果について

(9)地域の展望に関すること

〈問30〉あなたの町内会がある地域について、20年後の展望を聞かせてください。
(1つに○をしてください)

〈回答結果〉

項目	回答数	構成比
1. 大いに活性化している	1	0.2%
2. 活性化している	13	2.7%
3. 現状を維持している	134	27.9%
4. 活動が低迷している	96	20.0%
5. 存続が難しくなっている	187	38.9%
6. わからない	35	7.3%
7. 無回答	15	3.1%
計	481	100.0%



⇒ 「活性化している」 … 全体の約 1 割
 「現状維持」 … 全体の約 3 割
 「活動の低迷・存続が難しい」 … 全体の約 6 割

2. 調査結果について

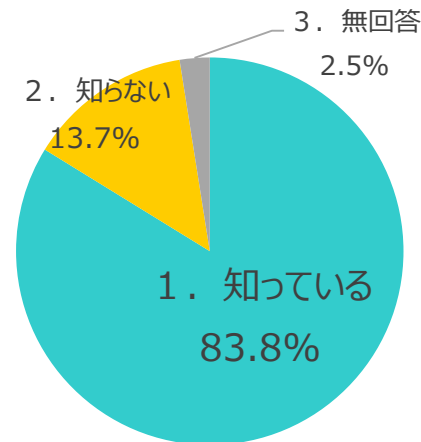
(9)地域の展望に関すること

＜問31＞ 10年前（2011年度）に比べ、地域の現状（人口減少や少子高齢化等）がどのように変化しているか知っていますか。当てはまるもの1つに○をしてください。

＜回答結果＞

項目	回答数	構成比
1. 知っている	403	83.8%
2. 知らない	66	13.7%
3. 無回答	12	2.5%
計	481	100.0%

＜地域の現状の変化（10年前（2011年度）から現在）について＞



2. 調査結果について

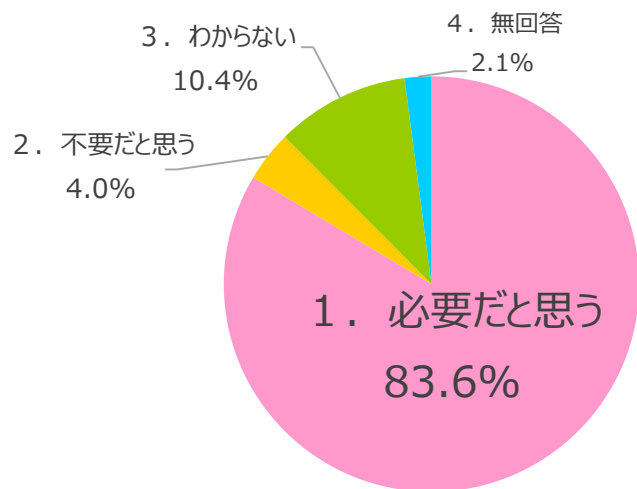
(9)地域の展望に関すること

〈問32〉今後も町内会の活動は必要だと思いますか。当てはまるもの1つに○をしてください。

〈回答結果〉

項目	回答数	構成比
1. 必要だと思う	402	83.6%
2. 不要だと思う	19	4.0%
3. わからない	50	10.4%
4. 無回答	10	2.1%
計	481	100.0%

〈今後の町内会活動の必要性について〉



⇒ 全体の約8割の組織は、今後も地縁組織（町内会）の活動は必要であると考えている。

2. 調査結果について

(9)地域の展望に関すること

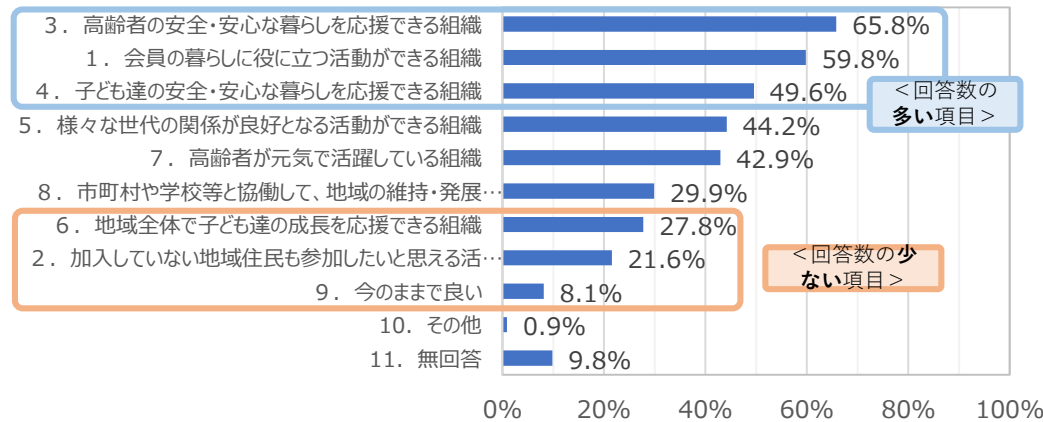
<問33> 自分達が加入している町内会について、将来どのような組織でありたい(あってほしい)と考えていますか。当てはまるもののうち上位5つまでに〇をしてください。

<理由>

項目	回答数	%
1. 会員の暮らしに役に立つ活動ができる組織	280	59.8%
2. 加入していない地域住民も参加したいと思える活動ができる組織	101	21.6%
3. 高齢者の安全・安心な暮らしを応援できる組織	308	65.8%
4. 子ども達の安全・安心な暮らしを応援できる組織	232	49.6%
5. 様々な世代の関係が良好となる活動ができる組織	207	44.2%
6. 地域全体で子ども達の成長を応援できる組織	130	27.8%
7. 高齢者が元気で活躍している組織	201	42.9%
8. 市町村や学校等と協働して、地域の維持・発展のために活動する組織	140	29.9%
9. 今のままで良い	38	8.1%
10. その他	4	0.9%
11. 無回答	46	9.8%
計	1,687	

※%は無効回答(6つ以上選択等)を除く(468組織)で計算

<将来の組織の姿について>



<その他>・「将来とはいつのことか不明。具体的に!!」(十和田市)、「神社のメ縄づくりをつづけていける組織」(横浜町)、「よくわからない」(七戸町)

<回答数の多い項目>

- ・「高齢者の安全・安心な暮らしを応援できる組織」
- ・「会員の暮らしに役に立つ活動ができる組織」
- ・「子ども達の安全・安心な暮らしを応援できる組織」等

<回答数の少ない項目>

- ・「今のままで良い」
- ・「加入していない地域住民も参加したいと思える活動ができる組織」
- ・「地域全体で子ども達の成長を応援できる組織」

2. 調査結果について

(9)地域の展望に関すること

〈問34〉 問33で回答した組織になるためには、どのような取組が大切だと思いますか

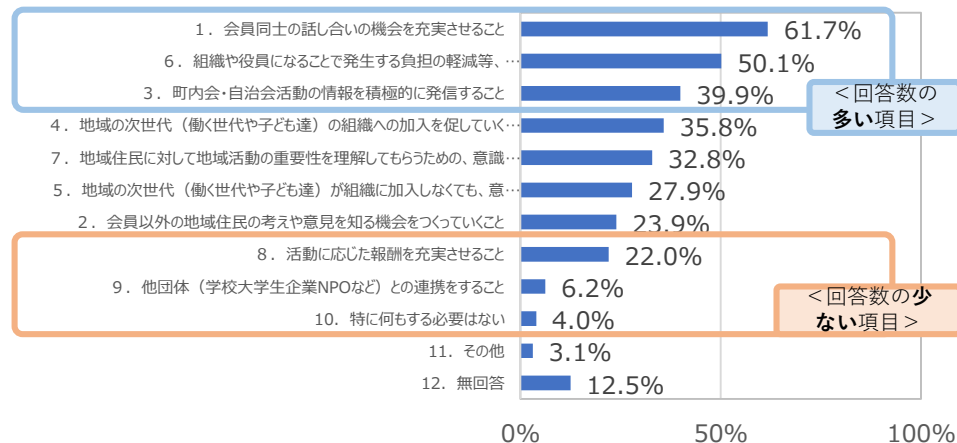
〈回答結果〉

項目	回答数	%
1. 会員同士の話し合いの機会を充実させること	297	61.7%
2. 会員以外の地域住民の考えや意見を知る機会をつくっていくこと	115	23.9%
3. 町内会活動の情報を積極的に発信すること	192	39.9%
4. 地域の次世代（働く世代や子ども達）の組織への加入を促していくこと	172	35.8%
5. 地域の次世代（働く世代や子ども達）が組織に加入しなくても、意見やアイデアを取り入れていくこと	134	27.9%
6. 組織や役員になることで発生する負担の軽減等、若い世代も関わりやすい組織運営づくりを考えていくこと	241	50.1%
7. 地域住民に対して地域活動の重要性を理解してもらうための、意識啓発をしていくこと	158	32.8%
8. 活動に応じた報酬を充実させること	106	22.0%
9. 他団体（学校大学生企業NPOなど）と連携すること	30	6.2%
10. 特に何もする必要はない	19	4.0%
11. その他	15	3.1%
12. 無回答	60	12.5%
計	1,539	

※%は481組織で計算

〈その他〉・「地域活動を充実するため、もっと活動費(予算)を増やしたい。」、「子供を育てやすい環境を創ること。」、「地域住民が楽しいと感じる町内会を作る。」(十和田市)
・「よくわからない。」、「若い世代の定住者が増えて欲しい」(七戸町)
・「やる気のある会長達が行政としっかり話し合える環境を作る。」、「助け合いの精神の醸成」(おいらせ町)
・「行事等は広い年齢層を対象とし幅広い活動」(三沢市)

〈問33で回答した組織になるためには、どのような取組が大切かだと思うか〉



⇒ 「話し合いの機会の充実」(約6割)、「負担の軽減等、若い世代も関わりやすい組織運営づくりを考えること」(約5割)、「町内会活動の情報を積極的に発信すること」(約4割)の順に回答が多かった。



2. 調査結果について

(10)その他

※ここでは、以下のようなことがわかります

- ・町内会の良いところや自慢、行政に伝えたいこと 等

2. 調査結果について

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(1) 十和田市 (1 / 3) ※回答数「45組織 / 158組織中」

- 今のまま特に何も。
- 町内会だけで決めないで各団体(組織)に決めさせ、決まったら報告する事。農協関係、福祉関係、その他の会員で決める。
- 住宅地域のため、夜などは特に静かです。(自慢)地域道路、側溝整備に市は30~40年もかかっている。(予算が無いとのこと)(困っていること)この先人口は増々減少していく事ならば、小さな町づくりを目指していく必要がある。そのためこれから住宅を建てる人は、一定の制限地域に集まる様な事を考えていく必要があると考えます。集中的(集团的)町づくりを目指すべきと考えます。
- なし
- 会員相互仲よし生活していると思う。古い町内会で若い人が少ない。
- 町内会でのいざこざが少なく、まとまりがあるほうだと思う。
- 只々自然に恵まれた環境のいい所です。ここに住んでいたら、どこにも行って住もうとは思いません。皆さんも老後、この辺と一緒に住みませんか？
- 町内会行事等参加者が多い。総会には70%参加です。
- 毎月の広報を会長自身が各班長に渡しています。特に冬はよろこばれます。また会員の顔も全部わかってきました。
- 会員のまとまりもありますし、皆積極的に行事へ参加してくれています。ただ、若者が都会へ進学し、そのまま都会で就職をしてしまい、地元へリターンするにも、給料の差や職種の少なさがネックとなっていて、地元へ残っている若い世代も土日も就労するような職種などで地域へ目を向けたり、家を守り継いでいく意識が持てない状況です！若い世代が都会や大学なりで、身につけて知識を活かせる職場(企業)を青森県(十和田●町内会内地域)に多くしたり、また昔のように主食の米が高く、長男は家と土地を守り、地域を支えて、町内のコミュニティーを支えてきていたように、兼業の農家のように(会社員は格差無い給料)職場と農業なりの合算の収入で何とか生活ができるし、家も建て、結婚し、子供を育てていけるようにすれば、若い世代はこの青森でくらししていきたいと考えるのではないかと思います。このアンケートはとても良いデータがとれると思いますが、できれば青森県出身者で、地域へ戻らず、都会で就職した者へ同様のアンケートをしてみたらどうでしょうか。
- ①町内会報発行12 6年目(毎月)。②ゴミの分別問題、出し方が他町内会より良い。③役員全員の協力、連携が良い。
- 独自の広報「●●●便り」を月1回発行していること。
- 特にありません。
- 特になし。
- 古い県営住宅を→十和田市の新しい住宅にしてほしい。
- 市道・農道の草刈を会長が安い報酬で年2回行って居ます。
- 町内会に保育園が有る事。
- 行政の力を取り入れ、町内会の必要を訴え、皆で協議して住み良い地域にすることを県も支援して頂きたい。

2. 調査結果について

(10)その他

〈問35〉 あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(1) 十和田市 (2 / 3) ※回答数「45組織 / 158組織中」

- 町内会は皆、昔からの人達なので、コロナ禍の中でも若い人達は団結もあり、祭りも去年は小さく作製してとても子達も喜んでいました。ですので町内のも協力してくれています。
- 私達の町内会には80才代の方は2人で、70才代が3人で暮らしています。合計で5人です。
- 当集落の神社境内の片隅に、樹齢百年を越すと思われる極めて珍しいけやきと杉が合体した樹木があります。いつの頃からか、縁結びの神木として祭られている。まずは必見！！
- 特に何も無い普通です。
- 特になし。
- 町内会員世帯数が多いため、きめこまやかに回覧板等で会員に周知。徹底を図っている。
- 8世帯なので連絡、相談が出来やすい。問題がすぐにかいけつする。
- 結束力がある部落です。
- 当町内会は純農村地域で小さな集落であるが、農業後継者も多く若者が町内会の活動に積極的に参加して町内会活動を盛り上げてくれている。(盆踊り大会、八幡宮例大祭、通学路等の草刈作業等) また、郷土芸能である「駒踊り」も継承し、地域の文化に積極的に取り組んでいる。今後、少子高齢化で町内会がどのように変わっていくのか心配なところもあるが、若者の意見、要望を取り入れながら活性化させ明るく住んで良かった活動を展開していきたい。
- 特になし
- 1.新山神社での学童による奉納相撲 2.敬老会の実施 3.名水保全
- みんなで協力、共同して運営している。
- 1.町内会活動の方針 西北園町内に居住する会員の願いである、「安心、安全そして快適な暮らし」を実現するため、会員相互が協和して生活環境の向上、高齢会員への支援、防犯対策等に関わる町内会活動の喚起・奨励に務める。 2.今年度の活動の重点～向こう三軒両隣の心を大切にしよう～①高齢会員への見守り活動(自助から互助へ) ②あいさつ運動(防犯と子どもの健全育成) ③町内会だよりの発行(情報の共有)
- 我が町内会は少子高齢がそのままの町内会です。26世帯約90人の町会ですが、農業の部落でとまかく明るい年寄の散歩がうるさい位、あかるい元気な笑い声(子供・年寄)がいつもある。
- 町内会とシニアクラブ(老人クラブ)が協力して活動している。今後も情報交換しながらやって行く。その為にも活動に対する予算等は継続してほしい。
- ほぼ全数加入している為、親睦会等を開催している。
- 上の人からいろいろおしえてもらえる。
- 子供は少ないがやんちゃで明るく、老人会はグランドゴルフやゲームなどの活動が盛んである。集会所は常に開放され、老人会の娯楽や趣味の場となり、集会所に行けば人が居る環境創りに力を入れています。

2. 調査結果について

(10)その他

〈問35〉 あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(1) 十和田市 (3 / 3) ※回答数「45組織 / 158組織中」

- 当町内会は災害等が無い地域ですので防災等にあまり意見が無い状況で、生活は大変しやすい所でもあります。出来ましたら、活動につなげる計画とか他の地区の状況等を提案してほしいですが？
- 周りの大きい町内の方々へお願いしています。
- 皆、活動には協力してくれてるので大変有がたいと思います。
- 昔から町内に住んでいて9割5分以上が町内会員で顔見しりが多い。
- 街灯の電気料金や交通安全母の会等の会費を町内会費から支払う事に全面的に協力してくれている。また、作業奉仕等は全員参加してくれている。
- 町内会員も役員、班長も皆積極的でコロナの前はバス旅行、懇親会など参加者も多く●●●町内会でも一番活動的と思う。次の役員を担う世代への(今の40代、50代)引き継ぎが課題です。
- 1.毎月1回会員へ情報伝達のため手作りの「町内会報」を発行している。今年度で17年目を迎えた。(継続は力なり) 2.毎年10万円を予算化して「儉約」に努めている。28年前分離独立した町内会であるため、集会所がなく行事を行う場所もない。諸会議や町内会行事は全て借用施設や土地で行っている。町内会独自の施設(集会所)や土地を持つためである。(チリも積れば山となる)
- 宝クジ・原燃・競馬協会等の町内会等で活用できる補助事業の一覧表があれば活用したい。
- 小さい集落ですので、まとまり、協力体制が良い。

2. 調査結果について

〈問35〉 あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(2) 三沢市 ※回答数「18組織／59組織中」

- ①市内で唯一小中学校の春休み、夏休み、冬休み期間中夜間パトロールを行っている。（現在コロナ禍で中止）②小さい町内会だが毎年夏祭りにだしを作成し参加している。
- 世帯数が少ない為（高齢）で淡々と行事をこなしている。年2回のクリーン作戦、役員選挙、総会等。世帯数21世帯（入会20世帯）
- 小さな町内会なので横の連絡が密。
- 7月小旅行、8月バーベキュー大会、12月餅つき大会等、参加料なしで会員は楽しんでいます。
- 祭り活動に青年部が積極的に参加してくれること。役員にも入ってくれて、活動も積極的に推進してくれること。
- 行事を多く実施する（年20件）・継続を目的に農園活動を取り入れている。・公報「風だより」を発行
- 役員が協力的である。
- 集会所を趣味や娯楽をして楽しめるよう開放している。・マーじゃん、トランプ（五人カン）等の楽しめる大会の場をつくっている。ただし、コロナ菌対応で出来ずにいることが残念。
- 私達の居る桜町団地（集合住宅）は近代建築の為、災害に対して（地震・津波等）には強く、皆には火災に対する事に気を付ける様に話してます。高齢者が
- 多いので地震の時に慌てないで居る事、慌てて歩けば転んで転倒する事の方があぶないので常に気を付ける様に云って居ります。すばらしい住居（市営・県営）本当に有難うござ座居ます。
- 様々な組織活動をしている事 1.グランドゴルフクラブ活動 2.老人クラブ活動 3.寺子屋活動 etc
- 自衛官OBの町内加入が多い。自衛官OBの自主協力が多い。
- 町内会は小さな町内会ですので、まとまりが良く親睦をはかる為の色々な行事（今はコロナの為中止になってますが）に若い方々がファミリーで参加してくれております。持ち家の方は会員になって下さっていますが貸家の方々も入会してくれればと思っております。
- 少世帯、少人数、高齢化ですがそれなりに住民同志が協力し合っている。
- 年に数回ある町内の公園・調整池の草刈において休日の早朝ですが、若い世代からお年寄まで町内環境向上の為、頑張ってくださいています。当日参加出来なくても別の日に草刈して下さったり、町内の皆さんの気持ちがあたたかいです。
- R3、3月に発足した町内会です。会員の方々は若い人（20～30代）が中心です。10世帯あまりの組織ですが、より良い町内会をめざし活動していきたいと思えます。
- 町内会の行事（花植え、草刈、その他）への参加者が比較的多い。（他町内会と比較して）町内の環境整備には協力的である。
- 少数ではあるが役員の皆さんが町内会の運営に骨を折っていただいている。今までのような町内会の運営は今後できなくなると考えています。理由は人材不足と若い世代の方たち、子育て、その他の事で町内会への参加は非常に難しい。今までがこうだったからこれからも努力し継続しようではなく、現状を時代の流れに立脚して考え、我が町内会は行政と協働し地域社会の繁栄に寄付して行きたい。
- 古間木川の草刈を行っている。

2. 調査結果について

(10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(3) 野辺地町 ※回答数「5組織／13組織中」

- 良いところは特にありません。
- 令和2年に会長となり、今まで町内会の活動を見直したため、原点にかえり、活動していきます。第1年度町内会規約の見直し。一人でも多くの町内会員が参加できる活動したいが、コロナ禍で活動したいけどできない活動が多い。一日も早くコロナがおわってほしい。
- いざと云う時、声を掛ければ会員は協力してくれる。
- 何事にも積極的に活動しています。しかし少子高齢化が進み活動内容が変わってきています。今出来る事を参加者全員が全力で頑張っています。
- 役員等は与えられた任期、仕事には忠実に参加・実行してくれています。私的には「絆」と「ボランティアと言うただ働き解消」を提言しています。今ある現状（地域の）を理解し、次世代への道標を作りたい。災害等には防災士としても対応して地域住民の安全、安心に取り組みたい。

2. 調査結果について

(10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(4) 七戸町 ※回答数「9組織／60組織中」

- 行政に伝えたい町内会の問題。野良猫の排泄物による悪臭被害。町民の中には餌付けをしている方がおり野良猫が増えている。駆除する方法は？
- 高齢者にとっては町内会の役割も負担。
- Q22でも回答しましたが、この頃特に車からのゴミのポイ捨てが多く、田んぼや畑、更にはゴミが散乱し、非常に困っています。これは人としてのモラルの問題もありますが、考えられません。県条例で(町条例)定めるなどの対応が出来ないものかと思います。
- 会員数は年々少なくなっていますがまとまっている所はすばらしいことではないかと思います。
- 特になし。
- ありません。
- 常会、会員が48戸少ない集落なのでまとまりやすい所。
- 一人暮らしの冬場の除雪作業 ・町内会全体の草刈り（年に2回実施）町道もふくめ
- 全戸加入（生活外者以外）

2. 調査結果について

(10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(5) 六戸町 ※回答数「8組織／41組織中」

- 特になし。
- 若い世代の居住者が多い。(が、無関心)
- 美化運動で町から無償配布をうけた花種を町内会全員で播種、植栽、手入れと参加をしてお元気でいる事を確認しながら景観を楽しんでいます。
- 団地内の路肩の草刈を班毎に作業してきれいな環境づくりに励んでいる。秋には年に一回若い町内会会員（20名程度）がボランティアで空き地の草刈をしている。
- 25日会：年令不問、月1回定例会開催 31日会：子供会父兄中心に月1回定例会開催（大人だけ）、他時々子供中心のBBQ
- 他の市町村の状況よくわかりませんが、六戸町は外灯（防犯灯）の設置や電気料金への半額補助とか公民館等での備品購入への補助があり助かってます。
- 町内会で行なう各行事、ボランティア活動への参加率が高いと思っています。
- 災害の少ない所

2. 調査結果について

(10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(6) 横浜町 ※回答数「5組織／22組織中」

- 八幡神社のゆ縄づくり年2回（8月、12月）
- 小さい町内会であるため、全体を把握しやすい。何年も前からの知り合い世帯であることが最大限生かされています。
- 私共町内会では、5月から11月まで、「いきいき教室」という65歳以上の集会を5回開催しています。健康体操、お茶会、ゲーム大会などみなさんで楽しく過ごしています。また、11月から「ふれあいの居場所とよさか」という子供からお年寄りまでの集会を翌年の3月まで、月2回開催しています。健康体操からはじめ、子供たちとのふれあいなど1年通して顔合わせをしています。集会所、町内の道路など草刈り、草取り、花を植えてきれいにしています。
- 海、山、自然豊かな地域です。自然を大切に人と人とのつながりを大事に安全にらせる環境作りが大事だと思います。
- 若い世代がいろいろなアイデアを持ちよって考える。イベントなどたのしい町内会になりつつある。

2. 調査結果について

(10)その他

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(7) 東北町 ※回答数「11組織／58組織中」

- 町内会も大きく、それぞれに役割を持たせてきましたが、高齢化が進み、なかなか意見交換をして、まとめてくれる人材が少なく、会員自体知らない人が増えてきています。
- 地区運動会、地区納涼祭などに若い役員(会員)がリーダーシップを取り、参加者をまとめている。
- ボランティア団体(子供会OBの男性)があり、地域内の除雪等困っていることに対応できています。
- 特になし。
- 全員加入率が高い。
- 特にありません。
- 内に役所(東北町支所)、小学及び中学校(東北小学校・東北中学校)があり役所から学校までの通学路(歩道)の連携を頻繁に行なっている。(防犯も兼ねて)
- 郷土芸能である●●●保存会等、1940年以前からの行事があるので、これをなんとか若い世代に引継ぎたいと思っている。●●●保存会は全戸、全員会員としている。
- ボランティア組織があること。(ex.除雪、除草など)
- 団地の人全員が町内会に加入している事です。
- 地域における住民同士の話し合いや、役員相互の理解で町内会への信頼関係が良好で、円滑な町内会活動を行なっている。

2. 調査結果について

(10)その他

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(8) 六ヶ所村 ※回答数「7組織／20組織中」

- 特に除雪の問題ですが、町内会で除雪機を所有して(役員だけの使用)役場福祉課の声に対応しています。
- むつ小川原開発により、●●●地区より移転して、40年目を迎えようとしている当地域は、移転当初より地域のコミュニティを重視している中で、夏祭大会には130名による一同が盆踊りやカラオケなど老いも若きもが一夜を楽しく過ごしています。そして祭りの一大イベントはバーベキュー大会です。飲み放題、食べ放題と一気に盛り上がります。
- 町内会活動、例えば環境整備(本年春のごみ一掃運動)活動の際には、コロナ禍の中でも120人弱の参加者があり、また高齢者から年少者まで幅広い参加で、住民の地域活動・環境美化に対する意識の高さを感じられる。
- 各団体の参加によるイベント等が会員の参加意識を高め、地域の活性化が計っている。
- 良い町内会だと思います。
- 世代間交流を深める意味で、毎年グランドゴルフを開催している。小学生から高齢者まで、2020年はコロナで開催出来なかった。地域の中央を流れる川沿の草刈を毎年、会員総出で行なっている。地域的美観を保っている。
- 地域内の環境整備、施設管理等業務は可能な限り町内会に委託してもらい、町内会員が参加し業務を遂行する事により、連帯、協調、コミュニケーションが図られる。

2. 調査結果について

(10)その他

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

(9) おいらせ町 ※回答数「15組織／43組織中」

- 集金事業が多いので「町内会費と祭り寄付」以外は集金しないで町内会費より「赤十字・社協会費・赤緑の羽根」は一括拠出している。年間3000～4000円は軽減している。ゴミステーションに通勤途中で不法投棄し役員が困惑している。
- 町内会のHPを見て！
- 1.役場職員のレベルが低い！2.行政の対応が遅い！3.民間同様の人事評価制度の導入(町内会の良いところは特になし)
- 会員のまとまりが良い。
- 毎月町内会広報を発行し、町内会行事や役員の考えを発信している事。
- 少人数の町内会ですので、集会所の使用回数が今現在良好になっている。若い人の役員加入は現在、会社員・公務員で加入出来ない現状です。
- 4月から10月まで毎月環境整備を行なっている。8月に親睦の集いを行なっている。
- 私達の町内会は、おいらせ町の南西部(旧下田町)に位置し、奥入瀬川に接する●●●町内会です。下田村発祥の地であり歴史の深い町内会です。小学校、お寺、神社、こども園、学童保育等が有り、特に郷土芸能保存会(鶏舞、獅子舞)を組織して継承しおいらせ町無形文化財に指定されています。また、お盆には先祖供養の花火を上げます。町内会加入率も高く(ほぼ100%)いい町内会です。
- 昭和22年戦後中国満州からの引揚者(旧金木町出身者)と地元の二、三男対策として実施された。国営三本木原開拓国として津軽最南部の混在として開拓の村、パイオニアの村として苦難の道を歩んで来たことであります。現在は2代目が町内会活動を担っております。
- 町内会会員すべてが家族同然のつながりがある。
- 町内会だより「●●●」を平成23年6月から継続して毎月発行、令和3年7月号で120号となりました。
- 声かけ合うと向いてくれること。
- 執行部役員間の連携が良くとれていると思います。
- ①役員が積極的に奉仕の精神をもって献身的に活動している。②健全で建設的な意見交換ができています。③地域の環境整備、防犯・防災等安全安心に貢献している。④町役場職員と良好な関係を維持している。
- 当町のモデル地区として頑張っていきたい。